(明治四十一年十月二十五日第三種郵便物認可)

滿洲日報

八月十九日發行

發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村弌盛
大連市東公園町一三一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

蘇聯またも不信行爲

北鐵交涉責任に關し反對聲明を發表

嚴秘の交涉經過を發表

【東京特電十九日發】モスクワ來電、北鐵交涉滿洲國代表大橋外交部次長の東京引揚と交涉の事實上の決裂狀態に關聯し、右決裂の責任は蘇聯の非妥協性にありと滿洲國政府が聲明したに對し、蘇聯各紙はタス通信の報道の形式において蘇聯當局の反對聲明を發表し、是迄嚴秘に附せられてゐた交涉の經過、滿蘇兩國の買値賣値を發表した

日滿誹謗の發表內容

【モスクワ十八日發國通】蘇聯政府機關紙タス通信は十八日北鐵交涉決裂に至れる顚末を報告の形式で詳細に發表した、右は昨年五月二日蘇聯が北鐵賣却を提議して以來の交涉經過を逐一詳述したもので、最後に蘇聯の態度が終始極めて妥協的であつたに拘らず滿洲國代表が東京を引揚げるに至つた事は遺憾であると難じ、更に左の如く論じて居る

廣田外相が蘇政府の最終調停を拒絕するや、日滿兩國新聞は反蘇宣傳を開始したが、これは明かに蘇側の立場に壓迫を加へる事を目的としたものである、蘇側は右交涉において最大限の讓步をなしたが、日滿兩國は蘇聯の最終案をも拒否したのみならず、滿洲國代表が東京退去の示威的行爲を敢てした、更に在滿日滿當局は昨秋同樣北鐵從業員の逮捕を行ふに至つた、事茲に至れば何人が不合理な侵略を敢てし、且つ何人が交涉中止に責任を負ふべきかは瞭かである

和戰兩樣の準備

滿洲國側の態度不動

【新京特電十九日發】北鐵交涉はソ聯側の不誠意により決裂は當然なりとし大橋外交部次長は引揚げたが滿洲國側はソ聯が廣田外相の仲介案を承諾し、若し今後三十日以內に新案を撤回して誠意を示す場合は交涉再開に應ずる用意あり既に最後の肚は決まつて居る、交涉再開か決裂かは一にソ聯の誠意の如何に依つて決せられるもので滿洲國としては飽まで從來の方針通りに北鐵を本國の主權下にある一の營業機關として取扱ひ、ソ聯が北鐵を根據地として赤化宣傳或は政治的畫策をなす場合は斷乎たる處置に出づる方針で、和戰兩樣の準備を整へソ聯が誠意を以て臨む場合は總て紳士的に解決せんとするもので毛頭脅迫的意思なく滿ソ關係を正常に導かんとする意向である

日滿兩當局に不快の印象

大橋次長北行

【東京十九日發國通】滿洲國大橋代表が東京引揚に際し交涉の決裂でない事をユレニエフ代表にダメを押し交涉への信義を重んじて讓渡價格條件を發表せず蘇聯の反省を促したにも拘らず蘇聯政府はタス通信をして遂に十八日滿洲國のなさなかつた事を敢て發表せしめ、交涉の今後に暗影を深くした事は蘇聯に最初より交涉の誠意なきを裏書するものであり日滿當局に不快の念を抱かしめて居る

滿洲國外交部次長大橋忠一氏一行六名は十九日午前九時發はとで歸任の途に就いた

大橋代表出迎

新京各團體の

【新京十八日發國通】一ケ年有餘の北鐵交涉經過思はしからず大橋次長以下滿洲國側代表は十九日午後七時半歸京する事となつたが、一行到着の際新京特別市中小學生約八百名及び新京各團體約百名は驛前廣場に整列し代表一行が堵列前を通過の際萬歲を唱へ代表通過には何等の通知もなく寧ろ寂寞の

秘境の滿蘇國境を往く ……(3)…… 南里本社特派員發

蘇聯の積極軍備に

滿洲國側は無防備

女不足に惱む住民

滿洲事變前黑龍江を經て烏蘇里江に就航した滿洲國の汽船は三十三隻餘の多數であつたが、事變と同時に全く杜絕し一昨年北鎭丸の處女航海を見たけれど匪賊に拿捕され、更に昨年五月鋼山丸を就航せしめしもこれ亦同樣の運命に陷り警備兵として乘船中であつた白系露人二十名はソ聯側に引渡されて銃殺の極刑に處せられた樣樣である、この國境河川における悲慘事の頻出に政府では江防艦隊を派遣して匪賊に拿捕されてゐた前記北鎭及び沈沒せしめられてゐた鋼山を救助した現在では右兩船とも國境河川に就航目覺しい活躍を續けてゐるが、當時から今日を思ふさ江岸殆ど無人を經ち虎林迄は定期船さへ就航してゐる躍進振りだ

(興) 凱湖の東部國境より黑龍江上流西部國境に至る二千キロを初め國內河川の警備に當つてゐる江防艦隊は民國八年大總統徐世昌が王崇文を同艦隊司令に任じ同年七月運送艦蘇安は軍艦利綏を、利川は利捷を屯航せしめ江亭を旗艦として上海より黑龍江々口テカストリー灣に回航させた、而して運送艦蘇安一隻は上海へ歸航せしめ後右艦隊は運送艦利川と共に江を上らんとしたがソウエートは之を許さなかつたため露支兩國交涉を重ねた結果支那艦隊は松花江以外の河川に進出せないといふ約束のもとに入つた運送船利川は遂に下航を許されず、改造して艦隊に編入したがその後幾多の變遷を經て一時は江防艦隊も江亨、利綏利捷、利川、利濟、江平、江泰江安、江通、江清さいふ十隻勢力であつた、然るに民國十八年の露支戰爭で大部分は松花江に於て支那軍のため擊沈され、江平利綏、利濟、江清、江通の五隻のみが辛うじて修覆滿洲國に歸順したのである

現在の江防艦隊は右五隻のほか大同、利民、砲艇、恩民、惠民、普民、本年八月一日には順天、養民が進水した、然し二千キロ以上の國境河川をほぼそれと同距離の國內河川を有する滿洲國が一つは對外的に一つは對內匪賊の工作に善處するには今後なほ江軍力の大充實が焦眉の急とされてゐる

(ル) コワヤの對岸江灣附近から滿洲國側の風光は重々たる山が江岸に突き出て神のやうに美しい、二十七日午後零時半撫遠着、上陸して縣公署を訪問す、縣公署は丘の上に新築されたばかりの平屋建て對岸ルコワヤは呼べば應へん近さに俯瞰される、ハバロフスクに本據を有する第十九狙擊隊から特に四十二名を派遣して警戒に當るのも撫遠を目標としてゐるからだ、露支戰爭當時も露軍はこのルコワヤより撫遠を砲擊し、縣公署は無殘にも破壞されたさいふが、今日もなほ蘇聯の積極的軍事施設に對し滿洲國側は全くの無防備で、この對照は國境視察者の最も不思議さする處であらう

撫遠縣內は戶數一千八百二十九戶七千五百人清朝時代は無人の境だつたが百五十年前ドーターズが移民せしも民國當初より山東、南滿方面からの移住者が漸次增加し二萬五千方滿里の面積に對し七千五百人の滿人と鮮人二千四百、ドーターズ人百三十四名が住んでゐる譯である男十に對し女三の割合だから恐ろしい女不足な土地だ、然し國境に沿うた地には危險率の多いことゝ未開な點とで女の來住するもの極めて少く、撫遠のみが女不足の地でない同江、饒河、虎林何れも皆ら女不足に、男たちは悲鳴をあげ對岸蘇聯からの女逃亡者を待ちかねてゐるの實情である、若し蘇聯農民が逃亡して來ると女だけはさても歡迎するが、連れの男のみは蘇聯側に追返されて慘事を見るなど決して少い事件ではない模樣だ、それ程女は何れの國人を問はず貴重品扱ひされてゐる

(寫眞は撫遠の展望)

議會無解散の空氣

漸やく濃厚となる

床次遞相等の工作

【東京特電十九日發】岡田內閣は組閣の使命に鑑み當然來議會を解散して國民の既成政黨に對する信用を問ふと同時に、公正なる選擧を執行して政黨の正しき分野を定めんとするものとされて居たが、最近における政友會黨內狀勢及び閣內の空氣を觀るに、來議會に解散なしとする觀測が漸次有力さなりつゝある、卽ち岡田首相は政黨色なき後藤文夫氏を內相の椅子に据ゑ來議院の總選擧に備へ、後藤內相もまたその意氣込みを以て改正選擧法附屬諸法令の成案を急ぎ、內相を繞る所謂官僚派の連中も內相を激勵して來議會の解散を斷行せしめんと希望して居るが、床次遞相らは來議會を解散するも床次系が果してどれだけの數を獲得し得るや疑問なりとして自重的態度に傾き、軍事豫算の重要性その他を理由に解散が避け得るならば來議會を無解散に終らしめんと徐に後圖を策せんとしてゐる

關東廳出張所は頗る冷靜な空氣

在滿機關改革問題に

【新京特電十九日發】在滿政治機構改革問題に關し關東廳が職員大會を開催した事は各方面より注目されて居るが、關東廳新京出張所には何等の通知もなく寧ろ寂寞の感を呈し、職員間には幾分活氣を失ひ所謂なるやうにしかならぬさいふ空氣が漂つて居る、一、二首腦者の意見を綜合すれば、如何に我々が大きな聲で兎や角いつて見た所でなるやうにしかならない、局長から輕擧妄動は愼まれたいさ訓令を受けて居るので成り行きを靜觀するより他はないといふに一致してゐる

內地車輛會社の活況

滿洲景氣謳歌

【大阪特電十九日發】川崎車輛で近く完了せんとする流線型機關車八臺を筆頭に滿洲各鐵路で運行される貨客車の注文は八百輛近くに達し阪神、東京、名古屋の工場街を賑はせまさに滿洲景氣を謳歌してゐる、機關車關係には岡本技師貨客車關係には肥後技師が出張して東奔西走各地を驅廻つて製作上の監督檢査にあたつてゐる、既に今年度に入つて滿洲に送られた貨車は約六十輛で殘餘百輛も逐次今年度以內に完成して滿洲各地にデビウする手筈さなつてゐる、この外有無蓋の貨車約六百輛も川崎車輛、田中車輛、日本車輛、東京汽車、大阪鐵工所の各工場において製作を急ぎつゝあり、これら大工場の潤ひをうけて附近小工場の活況も軍需景氣と相俟つて却々素晴らしい活況ぶりを示してゐる

華府條約廢棄通告は

豫備交涉結果を待つ必要無し

海軍側の強硬な主張

【東京特電十九日發】豫備交涉の結果を見てワシントン條約廢棄通告をなすべしとする說に對し海軍側の反對する理由は

一、比率主義撤廢は大角海相、廣田外相が六十四議會で聲明し、岡田首相もまた貴衆兩院議員招待會の席上において公式に聲明され、既に帝國政府の斷乎たる方針ともなつたも同樣と見るべきである

一、然らばこの大方針貫徹の手段として何等躊躇することなく、より速に廢棄通告をなし、この通告によつて帝國は一年以內に新なる會議を開くべしとの規定を適用せしめ、更にロンドン條約に規定された海軍々備制限會議さを同時に合併して一九三五年に新なる海軍會議を開きいづれの既存條約にも拘束されない自由なる立場に立つて帝國の比率主義撤廢の主張を貫徹すべきである

一、十月のロンドン豫備交涉に對しても比率主義撤廢が根本方針たる以上は、上述同樣の態度を決定して豫備交涉に臨まなければ足許を見透かされ、日本の主張貫徹は困難さなる

一、ロンドン豫備交涉は十月開くさいふがこれまでの經過から見ても大なる期待はかけられぬ交涉が豫定通り十月行はれるかどうかも判らぬ

以上の理由により廢棄通告の態度を速かに決定すべきなりさいふにある

支那本年天災被害

【南京十八日發國通】支那紙所報によれば本年に入つてから洪水、旱魃、暴風、蝗の被害は全國で十四省三百四十三縣に及び全國の約三分の二を占めその損失額十億元に上るさ

日蘭官民協議

【バタヴイヤ十八日發國通】未晒綿布輸入問題で協議すべき日蘭官民合同協議會は午前十時美術協會々場で開催したが日本側が賣止め申合につき說明諒解を求めたるに對し蘭印側は焦眉の急を說き不滿を述べ妥協困難を感ぜしめた

後直に隊伍を整へ樂隊を先頭にヤマトホテルに向つて行進しホテル前庭に整列滿洲國萬歲を三唱する事さなつた

羽田前部長離滿

けさうすりい丸で

滿鐵在任十五ケ年、鐵道部長にまで榮進した羽田公司氏は上下からその退任を惜まれながら遂に病のため圓滿退職、故國に歸つて療養することゝなつたが、氏が出發する十九日の大連埠頭は滿鐵側八田副總裁、宇佐美、山西、竹中、山崎、郡山の各理事以下各部長、鐵道部各課長等、傍系會社側から入江滿電、築島國際、白濱瓦斯各專務等、その他高柳中將、安達大佐、井上電々會社總務部長、久下沼水上署長、その他大連名流夫人等知名士多數の見送りで埋められ流石に氏の人望を偲ばせるものがあつた、かくして六月ごろに比べると最近めつきり元氣を見せて來た羽田氏は夫人と共に一々見送り人に挨拶し午前十時出帆のうすりい丸で思ひ出の滿洲を去つたが別れを惜む滿鐵々道部山口次長以下部員一同は更に滿鐵所有の嘉天丸に乘込み、うすりい丸の後を追つてこれを港外にまで見送り寺島溝外で工場ブラスバンドの吹奏する「螢の光」が始まつた時には見送られる羽田氏夫妻は勿論見送る部員も思はず手を振つて別れを告げ部員一同は心から氏の前途の幸福を祈つて萬歲を叫んだ

高師校長に

許元文敎部次長

【新京特電十九日發】滿洲國政府では地方制度並に敎育制度の體系確立に努力すると共に國民敎育の普及向上を計る目的で最高學府として高等師範學校を設立する事さなつたが校長には元文敎部許次長が任命される模樣である

九日愈々試驗給水をなす事さなつた

扶桑丸船客

【門司特電十九日發】二十一日大連入港豫定の扶桑丸船客主なる諸氏

海軍省本田敬太郎、豫備陸軍少佐內田三郎、旅順工大敎授金原誠、小倉石油社員小倉彥四郎、福島紡績社員彥坂萬次郎、日本舞踊學校長若柳吉兵衞、學校敎員德永珂月、工兵少佐時目清、砲兵中尉佐々木吉雄、山本一等軍醫、會社員黑瀨甫、樋野權一郎、中野慶治、竹內官次郎、村地俊治、荒川將太郞、加納安藏工學博士西川虎吉、メトロ映畵所員ロバート・ハーリー

人事

▲金井溫治氏(關東廳事務官)十九日午前七時四十分着列車で來連
▲古川達四郎氏(北鮮管理局次長)同上
▲富樫甚作氏(滿洲國財政部事務官)十九日午前九時發はとで北行
▲田村少佐(關東軍司令部附)同上
▲岡田少佐(滿洲國軍政部顧問)同上
▲福本順三郎氏(大連稅關長)同上
▲羽田公司氏(前滿鐵々道部長)十九日出帆うすりい丸で內地へ
▲市川數造氏(日滿倉庫事務取締役)同上
▲藤野新吉氏(水上署執行主任)同上
▲市原分氏(橫濱裁判所檢事)同上
▲大橋忠一氏(滿洲國外交部次長)一行六名十九日午前九時發列車で新京へ

新京稅關支署開設遲延

【新京特電十九日發】在滿商人を中心に各方面より積極的實現運動をなしつゝあつたハルビン稅關新京出張所は愈々中央通に稅關支署を建設し九月一日より事務開始の豫定であつたが家屋拂底により支署從事員三十餘名の宿舍さなるべき適當な家屋がないため九月一日よりの事務開始は困難さなり目下遞信局、財政部との間に交涉中であるが、之が圓滿なる解決を見ず新京稅關支署開設は行き惱みの形さなりその成行注目されて居る

孔財政部長西南へ

【南京十八日發國通】財政部長孔祥熙氏は今月末或は來月初め廣東廣西方面に赴くと傳へられるその表面的理由は南支各省の財政狀態視察であるが事實は孔が胡漢民始め各西南要人に好感を持たれるを利用し彼等を說いて對中央空氣の緩和を圖り五全會への代表派遣を求めるにあると觀らる

壺蘆島に上水道

【錦州十九日發國通】壺蘆島は寒山繞唯一の別莊及び避暑地として市街諸設備に力瘤を入れて居たがその第一着手として上水道施設計畫を樹て小凌河よりの淨水ポンプ設備を施し百五十噸入りのタンクを新設し先づ壺蘆島ホテル使用水道を手初めに附近一般に漸次使用出來るやう工事を進めてゐたが十八日大體の設備も完了したので十

上海紡績界

上半期の統計

(寫眞は撫遠の展望)

【上海特電十八日發】本年度上半期全市紡績統計は華商紡績聯合會より發表されたが操業錘數四、六七八、二七二で、昨年同期より九三、五四二の增加を示し、新規据付中のもの四一、八〇〇錘に上り休錘數一、二二四、二六七、總錘數は前期に比し一〇四、九三三錘增加して居る、操短週は昨年同期三週一二三、前期三週一六であつたが本期に入つて三週八九に增加米棉、印棉の消費量が激減してゐるのに對して支那棉は九一九、二七九俵と前期より七七、五七〇の增加を見せてゐる

蛇角

◇

豪雨安東地方を襲ひ、水源池を決潰して水を飢饉に陷らしむ。雨覽水涯の惡戲チト度が過ぎる。

◇

一方では支那江西省、大旱魃に米價奔騰、赤魔跳梁の機會を與へる。天公の惡戲度が知れず。

◇

歸滿の大橋外交次長「ソウエート外交はノロイ熊だ」と。評し得て妙さいひ度い處だが……。

◇

その歐洲における排日排滿工作を觀よ、ノロイ熊どころかズルイ狼以上。油斷あるべからず。

◇

「ロンドン豫備交涉を見て後の廢棄通告は手緩し〳〵」と海軍側ガゼン反對の氣勢をあぐ。

◇

海軍側さしては、邀撃外交排擊の筵前、當然さもあるべし。

七寶の柱 (92)

小島政二郎
岩田專太郎畫

樣と別れて——(四)

「ないわ」

お梅は、膝の上で電話帳をパタンさ閉ぢて、力なく目をつぶつた。

昨夜、歌舞伎座で、進藤から山岡が寫眞屋になつてゐると聞いてお梅は電話帳のやの字のところを一行一行、丹念に探して行つたのだつた。

「いゝ、おきさ」

お梅は婆やを呼んで

「車を一臺、大急ぎで呼んで」

お梅は、日參してゐる深川の不動さまへ、自動車を急がせた。

「どうか山岡のゐどころが知れますやうに——」

新願を籠めて、お土産に名物のきんつばを買つて、車を走らして歸る途中

「さうだわ」

ふいと或方法を思ひ附いた。

家へ歸るとすぐ、お梅は大神宮へ電話を掛けて、進藤を呼び出した。

「あの、お願ひがあるんですけど、これから伺つてもようございますこと?」

「どうぞ」

お梅は、待たせて置いた自動車に乘つて、九段の中坂へ急がせた。

「早速ですけど、山岡を呼んださ云ふお客さまを調べ出して戴けませんこと?」

お梅は、挨拶を濟ますと、すぐ用件を切り出した。

「さあ、分るかな」

進藤は心細げに首を傾げた。

「御恩に着ますわ」

進藤は暫く考へてゐたが

「探し出せるかどうか分らないが兎に角、調べて見ませう」

「兎に角なんて仰しやらずに、私を助けると思召して、是が非でも尋ね當てゝ下さいましよ」

「ハヽヽ。宜しい。しかし、四五日猶豫を下さいよ」

兎に角、さう云つて進藤は承諾してくれた。

「モシ〳〵、お梅さん?」

四五日は空しく過ぎて、一週間程した午過ぎ、進藤から電話が掛かつて來た。

「喜びたまへ、分つたよ」

「まあ、嬉しいこと」

進藤は親切に、先方へ電話を掛けて確めてくれた上、山岡の住まひと、電話番號まで聞き出してくれたのだつた。

「まあ、電話がありますの?」

「ああ」

「どうして電話帳に出てゐないんでせう?」

「最近買つたか、借電話だか、出てゐないさ」

「濟みませんけど、もう一度仰しやつて下さいな」

「電話番號かい?」

「電話番號も、番地も」

「電話はね、神田の——」

お梅は、さつき手帳に書き留めて置いた番號と番地とを、進藤の聲を追つて確めた。

「お忙がしい中を、御親切にいろ〳〵有難うございました。早速電話を掛けて見ますわ」

「御馳走さま」

「ホヽヽ」

進藤との電話を切ると、お梅は胸を躍らしながら

「神田のれ、二千六十七番」

すぐ出た。

「モシ〳〵」

女の聲だ。

「山岡寫眞館ですか」

「左樣でございます」

「あの、明日寫眞を寫して戴きたいのですが——はあ、午後一時頃御都合如何でせう?——では、その頃伺ひますから」

お梅は、聞かれるままに、中村と云ふ姓だけ告げて電話を切つた。

濁流に描く地獄圖繪
―安東地方水禍續報―

迸る熱湯を浴び百餘の子女死傷
慘！安東窯業工場の爆發
戎克・筏は殆ど流失

【安東特電十九日發】十八日夜までに判明した附屬地內の損害は浸水家屋五千五百六十六戶、流失五十一戶、倒壞七十八戶、安東署の調査に依れば附屬地內の死者は二十五名、負傷五十餘名であるが恐らくこれは適確に判明した數で押流されて行方不明となつた者が相當多數ある見込みである、最も悲慘だつたのは第一水源池の下手にあつた安東窯業會社工場の爆發で滿洲人從業員は刻々に增える水から救ふため女、子供を竈の上に乘せた所水源池のダムが決潰し白熱した竈の中に水が浸入したので竈が爆發し其の上に乘つて居た女、子供は熱湯を浴びて火傷し死者七十輕傷三十餘を出した

ダム決潰の時鴨綠江製紙會社の社宅はもう五分立退きが遲かつたら內地人社員家族二百五十名は大部分流される所であつた、滿洲街の死者は殆ど調査方法もないらしいが夥しい數に上り糧市街だけでも百餘名が流されて居る、沙河鎭の第二水源池は既報の如く根こそぎ流失し番人二名が流されたが其外にセメント搬出の人夫六名が逃げ遲れ屋根に這ひ上つたので地方事務所水道係では狂氣の如く救助にかゝつたがロープが屆いた二名だけ助かり他の四名はみす〳〵屋根ぐるみ濁流に卷き込まれるのをどうする事も出來なかつた、數百隻の戎克と數十萬圓の筏は危險を知つて鴨綠江本流から沙河や六道溝に引き入れてゐたが、これが殆ど全部流され矢のやうな速やさで大鐵橋のビーヤに打つかつて碎け、或は顚覆したので鐵橋下流で浮きつ沈みつする人の姿は悲慘なものであつた

警察側の報告

【奉天特電十八日發】安東の水害狀況に就いて、同市鴨江水上警察局より省警務廳に達した情報によると

十七日及び十八日より豪雨あり安東市街の東北を流る〻大沙河氾濫河口に繫留中の船八百隻、筏數十流失され損害約二十萬圓人畜の被害不明なるも二十餘名溺死者ある見込み、目下救護警戒中、現在（正午）に至るも豪雨やまず鴨綠江增水量五メートルを示し刻々增水中

更に安東警察廳よりの情報によると

市街の浸水は六尺五寸程度にして相當被害あり、目下對策攻究中第二、第三警察署の交通聯絡杜絕し被害不明なるも學校、製紙工場に避難所を設け救護中である

水勢烈しく着工不能
水源池の復舊

滿鐵地方部入電＝水源池は東側堤防根底より決潰し六道溝に向つて滔々として落下した、ために下流の人畜共に押流され死者十數名を出したと噂されるが交通通信共に杜絕し目下調査の方法なし、水源池の復舊工事も水勢烈しく目下工事に着手する能はず

排水設備不充分
水源池等の工事の根本的改築必要

【安東特電十九日發】十八日の浸水で直接鴨綠江の水をかぶつたのは江岸通りだけであつて、市內の浸水は排水管が吸込む機能を失つた程の豪雨、山津波が合流したのが原因で、從つて排水設備が不充分であつたことが指摘されてゐる勿論あのやうな豪雨は豫想外のことであるが萬全を期するため排水施設、水源池等の工事に根本的に…

列車に宿泊
旅客は超滿員

【安東特電十九日發】十八日午前七時安東を出て間もなく蛤蟆塘で立往生した奉天行第五列車は眼の邊り見る水禍の脅威に怖ゆること十六時間の後、同夜十一時漸く安東に引き返した、それに第一、第三兩列車も安東にストップしてゐるため旅館は超滿員でその他は列車內に泊り驛からの焚出を受けてゐる

地方事務所長も認めてゐるが…考へ直す必要のあることを…

電信電話復舊
電々會社發表

安東地方水害の爲一時不通となつた朝鮮經由日滿間連絡電信線其の他安奉間電信電話線は十九日午前零時四十分一應全部復舊を見るに至つた、其の中京新京間電信線は午前八時安東湯山城間にて障碍に罹り再び不通となつたので新京東京間の電報は兩地間無線連絡で疏通して居たがそれも午前十時二十分に復舊した

水禍で續々南下
朝鮮經由內地旅行者

十八日朝來の安東附近の洪水禍で安奉線各所は浸水不通となつたので朝鮮經由內地への旅行者は續々連京線で南下してゐるが、今十九日午前十時出帆のうすりい丸にもこの水禍で豫定を急變し海路を選んだ旅客は約百二十名の多數に上り各等滿員といふ盛況を呈したが安奉線復舊の如何によつては大連經由海路を行くものが激增するやも知れず關係當局ではこの準備に大童である

安奉線の水害
大した事なし

十九日朝猪田公司氏見送りのため來連した滿鐵奉天鐵道事務所長白井喜一氏は安奉線水害狀況について左の如く語つた

安奉線の水害は傳へられてゐる程甚だしいものではなく安東の浸水があつたので實際以上に大きく傳へられてゐるのだ、目下は蛤蟆塘、老古滿間の橋梁が開通しないだけで全部復舊は完成してなりその橋梁も十九日正午ごろには修理を終る筈である

工務課長談

滿鐵鐵道部工務課長中村英城氏は安奉線の被害狀況につき左の如く語る

工務課からは十八日朝第一報が入ると共に係員二名を現地に派遣した、その後安東の浸水に伴つて相當被害も大きいやうな噂を聞いたので現場に應援隊を送らうかと問合せたところ大したことはないから要らぬとの返事であつた

篤志婦人・藝妓等
焚出しに活躍
朝から靜かな霧の雨

【安東特電十九日發】十九日朝の安東地方は靜かな霧雨が降り昨日今日も夢のやうであるが元寶山に避難した二萬餘の滿洲人と附屬地各收容所の避難者に對する焚出しは滿鐵地方事務所が本部となつて市內の各食堂を總動員し未明から篤志婦人、藝者等が活躍してゐる、新義州から十九日五千人分の焚出しを寄贈して來た

音樂舞踊を通じ
日滿サ國の交驩
珍らしい〝マリンバス〟送り
訪日の滿洲國皇帝御慰問

【東京特電十九日發】去る五月滿洲國を承認した友邦サルバアドル國から來年櫻咲く時分に日本へ御來朝を傳へられる滿洲國皇帝並に隨員諸氏をお慰めするため同國固有のマリンバスといふ

變つた樂器

と踊り子とテナー歌手、それ〴〵一人で構成する珍しいバンドが日本を訪れたいと駐日サルバドル國總領事シグエンサ氏に傳へて來た、シグエンサ氏も是非日本へ招きたいと一行來朝につき斡旋中である、このバンドはサルバドル國最大のアトラカトルバンドといつて、指揮者ラファエルテイノコ氏の下に樂手十名、テナーは中米でも名のあるヴアレメレンデツサ氏、踊り子はアリアナサンといつて

サルバドル

一流の舞踊家、マリンバスといふ樂器は大きな木琴が並んだピアノ大のもので十人の樂手が二個のマリンバスをそれ〴〵持ち場のキイを叩きヂヤズや古典で獨特のトラベラなど何でもやるさうだ、元來このマリンバスメンドはサルバドルから一歩も外へ出たことがなかつたがこの春フランスから聲をかけられ始めて渡佛、モンテカルロで演奏後今

パリで人氣

を集めてゐるが明年一月契約が切れるのでこれを機會にこの變つた樂器を通じて大いに日滿サルバドルの交驩をやらうと日本訪問の意を駐日サルバドル國總領事に傳へて來たものである

〝宛ら軍人船〟
うすりい丸出帆

十九日出帆うすりい丸には今期陸軍定期異動に依り在滿部隊附から內地各師團に轉任することになつた牧野步兵大佐（第一師團司令部附）を始め石川、河合、太田步兵中佐、瀨戶航空兵中佐、石野、小野步兵少佐、室田陸軍三等主計正の佐官級並に尉官級が多數關係者の見送裡に乘船赴任したがまさに軍人船の觀があつた

闘魂火と燃えて
熱風下の競技
第五回全滿鐵　體育ボール大會

【奉天特電十九日發】滿鐵運動會主管、本社主催第五回全滿鐵體育ボール大會は十九日午前九時より國際運動場において擧行されたが定刻參加チーム三十組（中新京地方事務所、大石橋驛園區の二チーム不參加）三百餘名は中央役員席前に整列、齋藤代理會長奉天地方事務所副所長より體育ボールは年々隆盛となりプランによると參加チーム三百名の多數に上つて居ります、どうぞ日頃鍛練の技術とスポーツスピリットを充分發揮して堂々と戰鬪されん事を望みますと開會の辭を述べ昨年男子優勝チーム二廠工場主將より優勝旗返還、また女子優勝チーム本社雲雀クラブ山本、松岡兩正副總裁杯をそれ〴〵會商會長代理に返還し立上本社員より競技規定の說明ありて一同七コートに分れ、背中にたつ酷熱の熱風をものともせず老若男女の滿鐵マンは燃な先途と奮闘し各チームの熱戰も物凄く場內は渾然たる熱風下にスポーツの殿堂と化し正午までの成績は左の如くである

男子の部A組

△沙河口研究所2―0第三埠頭（午前十一時開始、十一時五十分閉戰、審判秋田氏）

沙河口2（二一―一七／一一―一六）0第三埠頭

（第三埠頭）口藤江　井下井　瀨田／關後佃　奧山松　寺駒原／前衛　中衛　後衛
島武倉　野下川　田藪本／兒百小　中木西　岡平松
（沙河口研究所A）

B組

△鐵道工場貨車職場2―0大石橋驛園區（午前九時三十分開始、十時二十分閉戰、審判堀井氏）

工場2（二一―一五／二一―一五）0大石橋

△開原驛2―1總局工作課（午前十時三十分開始、十一時…閉戰、審判古賀氏）

開原2（二一―二〇／一九―二一…）1總局

△鐵道工場庶務係2―0沙河口研究所B（午前九時三十分開始十時十分閉戰、審判佐藤氏）

工場2（二一―一九／二一―一五）0沙研B

△奉天鐵道事務所2―0建設局計畫係（午前十時十分開始、十時四十…）

南洋植物や珍魚を飼育
中央公園の溫室

工費一萬圓餘を投じて、大連中央公園事務所前に新築中であつた溫室は、愈々寫眞の如く完成し、目下南洋諸國に注文中の珍植物の到來を待つばかりとなつてゐる、同溫室は溫水暖房にオンドル式を併用するほか窓の開閉、換氣裝置に新工夫を凝し經濟的にも甚だ有利に設備されてゐる、…五米に達する椰子、株立椰子、ユーカリ、バナナ、パパイア、ゴム、クロトン等南洋植物を充滿して足を入るれば恰も南洋といふ感じを出さうと苦心、室內小池には珍魚を飼養し觀覽者の休憩設備も萬全を期する筈で、完備のあかつきは公園の呼びものとならう。

呪ひの九一號列車
またも匪賊に襲はる

【ハルビン十八日發國通】十八日午前五時四十分頃北鐵東部線橫道河子、高嶺子間を進行中の第九十一號列車は匪賊の爲レール取除かれ大音響と共に機關車一、貨車五輛脫線顚覆し物陰に潛伏中の約二十名の匪賊は二十分間に亘り列車に亂射し乘客數名を掠奪し…たが現場に急行した…これが爲線路復舊には十時間を要する見込みで一驛…より救援列…

鞍山への歸途
匪賊團と遭遇
送電線架設の警備員
勇敢に交戰擊退

【鞍山特電十九日發】撫順鞍山間の送電線架設工事の現場警備員副班長西尾誠一氏外邦人二名、滿人六名の警備員は十八日午後七時半頃目下立山北方における送電線架設工事現場の警備を終へて鞍山に歸る途中、立山東北約三百メートルの地點において長銃拳銃を所持する十名組の匪賊と遭遇勇敢に應戰し交戰二名を射殺の上擊退した

滿鐵色わけ
相撲大會

滿鐵運動會相撲部主催の第三回滿鐵各部色別對抗相撲大會は十九日午前十時より大連運動場バツクスタンド裏土俵において擧行定刻昨年度優勝チーム海老茶組以下五組入場土肥部長の挨拶後前回優勝チーム老海茶組より優勝旗返還式あり直に第一回戰に入つたが午前中の成績左の如し

老海茶　六―〇　白

○水島（寄り切り）木村
○鹽田（つり出し）小林
○森（ふみ出り）高橋
○菅原（龍折り）川上
○小林（下手投げ）世渡
○田中（寄り倒し）大野

樺　五―一　黃

○神山（寄り切り）成松
○伊藤（下手投げ）小原
○明石（すかし）石田○
○榎本（寄り倒し）櫻井
○鬼塚（ふみ切り）內野
○山本（上手投げ）楠田

綠　五―一　赤

○濱田（上手投げ）松本
○日置（寄り切り）奧田
○英（棄　權）吉田
○平野（打ちかけ）二本柳
○麻生（けたぐり）穎川
○前田（掬ひ投げ）山岡○

樺　五―一　白

○神山（つり出し）木村
○伊藤（腰くだけ）小林
○明石（押し出し）高橋
○榎本（上手投げ）川上
○鬼塚（寄り切り）世渡

綠　四―二　老海茶

○濱田（外がけ）水島
○日置（掬ひ投げ）鹽田○
○英（小手投げ）森
○平野（寄り切り）菅原
○麻生（けたぐり）小林
○前田（寄り倒し）田中○

彼が一旗擧げる迄

凡ゆる苦鬪、迫害、誘惑と鬪ひ今日の榮冠をかち得た牧逸馬、楓家金語樓、東海林太郎三氏の成功ロマンス、キング九月號に發表。

中等野球準決勝
吳港大勝
對秋田戰

吳A―0

【大阪特電十九日發】全國中等學校優勝野球大會準優勝戰秋田中學對吳港中學の一戰は十九日午前十時十三分より甲子園球場に於て井ノ川（球審）森田、長谷川、中川（壘審）四氏審判の下に秋田先攻で開始されたが吳港藤村投手好投して秋田の打撃を完封し九A對零で吳港大勝した、閉戰零時十七分

バツテリー（秋田）梅崎―三浦（吳港）藤村、柚木―藤原

秋田　000　000　000＝0
吳港　102　032　01A＝9A

第二十回全國中等學校優勝野球大會
懸賞締切は八月十九日

本十九日本紙朝刊第六面第二十回全國中等學校優勝野球大會懸賞「何校が優勝するか」の投票締切期日八日十八日とあるも滿洲地方は八月十九日（同日消印あるものは有効）

師岡辯護士急遽上阪す
三谷元檢事事件

目下瀆職事件にて大阪北區刑務支所に收容されてゐる元大連檢察局首席檢察官三谷銀藏氏（三）の在連時代に於ける瀆職事件に關しその證人として師岡辯護士は十九日出帆うすりい丸で急遽上阪した

受驗英語講習

敷島町大連基督教靑年會學校部では來年高等專門學校の入試に應ずる中等學校在學中の四五年生徒の爲め九月五日から受驗講習會を開催し每日午後四時より責任を以て指導すると規則書は同校に請求の事

鈴木選手歸連

歸鄕中の大連實業團鈴木選手は十八日入港ばいかる丸で歸連した

小森主任榮轉

水上署衞生課主任小森慶三氏は十八日附辭令にて關東廳衞生課勤務に榮轉一兩日中に赴任することになつた

天氣予報

二十日

南の風曇

滿潮（午前五時〇分／午後四時五〇分）
干潮（午前一一時四五分／午後一一時一五分）

各地溫度（十九日午前十一時）

大連　二六　奉天　二九
旅順　二七　新京　三〇
營口　三〇　新義州　二六
ハルビン未着

新講談 丹下左膳（199）

林不忘作　小田富彌畫

人身柱（六）

何を思つたか對馬守は、大聲に笑ひ出して、

「今度のこの造營に際して、その問題の護摩堂の北側の壁へ、生きた人間を人柱に塗り込めればならぬ……と言ひ出したのは、一體誰ぢや？」

別所信濃も主水正も、答へませぬ。

シンと不氣味な靜寂が、この狹い密室に落ちる。

「昔から人柱は、言ひ出した者へ當ると申すことだぞ。主水、お前ではないか、左樣なことを言ひはじめたのは」

ギヨツとした主水正、このあひだ妻戀坂の司馬道場で、峰丹波に斬りつけられた時よりも、もつと狼狽て、、

「ト、飛んでもない！私が何でそのやうなことを！」

と、兩手を眼の前に立てゝ、しきりに手を振る。

ぢつと凝視めてゐた對馬守、意地の惡さうな微苦笑とともに、

「ソラ／＼！その手が、壁を塗る手つきにそつくりぢや。何うも主水こそ人柱は其方へ落ちさうぢやぞ」

主水は眞つ蒼になつて、

「ジヨ、冗談ぢやありません」

と、ピタリと兩手を膝へ下ろしてしまつた。

これには、別所信濃守も微笑しながら

「しかし、言ひ出したものが人柱に當るといふことは、昔からよく例のあることで」

「さればさ」

對馬守は重々しく、「出雲國松江の大橋を架ける時、人柱を立てることになつたが誰も自ら進んで犧牲にならうといふ者はない。その時、源助なる者が、着物に繼ぎのある者を探して人柱にするがよいと言ひ出したところが調べて見るとその源助の背中に繼ぎが當つてゐたので、いひ出した源助が人柱に立てられ、これで、さしもの難工事も落成し、源助は死後長く橋柱を守つて未だに源助柱てふ名が殘つて居ると申す。何うぢやナ主水正、貴樣も、もう年に不足はあるまい。今になつて誰彼と人柱を探すより、貴樣、その護摩堂の壁へ這入つて、主水壁……イヤどうも、これでは語呂が惡い。田丸壁、はゝはゝ、一つ潔く人柱に立たんか」

「殿、御冗談が過ぎまする」

滅相もないといふ顏で、主水正が平伏するのを、別所信濃守は靜かに見やつて、

「イヤ、柳生殿、護摩堂の人柱は婦人と子供――それも、母子づれが最も宜いといふことで」

助かつたやうに主水正は、顏を上げました。

「ソレ御覽じろ。かゝる老骨では絢爛を極める彼の護摩堂の人柱には、役立ち申さぬ。ア、助かつた」

「左樣か。女と子供、しかも、母子二人でなければならぬとナ、ハアテ……」

この護摩堂の天井は、唐木の合天井になつて居りまして、そこに親獅子仔獅子の繪が描いてあつた――今はないけれど――その母獅子のはうは、狩野秀信の作。仔獅子のはうは、秀信の子狩野助信の筆だと傳へられてゐた。

その故でせうか、この護摩堂の壁に母子の人間を塗り込めなければ、今度の大造營は成功しない……誰言ひ出したともなく、今、かういふ話が持ち上がつてゐるのです。

「それでは、通りがゝりの旅人を引つ捕へて、人柱に塗り込めるよりほか途があるまい。主水！其方に一任致す。鹿沼新田の關所に出張つて、然るべき母と子の旅の者を物色いたせ。極密にナ――拔かるまいぞ！」

映画と演藝

熱河・北支へ― 新興映畫の飛躍
承德、海拉爾に契約館 青島、天津にも進出

松竹、日活、新興の日本三大映畫企業家の首腦部がこの夏以來相次いで來滿し、滿洲で如何なる競爭を行ふものか關係內外から注目されてゐたが結局期待された程のこともなく各社とも單なる偵察戰に終つたらしい、然し各社のうち年の若い新興は新境地滿洲に喰ひ入るに躍起となつて日活、松竹の二大牙城に迫つたが何分滿洲三都市始め沿線も大ていの所は松竹、日活に占められてゐるので、新興では未開拓の都市に着目、手を伸ばした、旣に沿線七都市のほかハルビン、吉林、チチハルに契約館を設けたが更に熱河、興安嶺の奧まで着目しこんど承德と海拉爾に新興契約館を設けることゝした、新興滿洲出張所員は是がため本社と打合せ後十七日歸滿したが近く兩地に赴いて具體的に取極める筈でなほ北支進出を目指し青島、天津にも契約館を新設する意向である、是等は全部滿洲出張所で統轄する筈で、近く市內に事務所を設けて出張所を獨立する

滿洲女性會 映畫會

ソウエート映畫「新女性線」は再檢閱の結果、女性に限り又場所を制限されて上映を許可されたので愈々滿洲女性會主催の下に二十一日協和會館において午後一時及び七時の晝夜二回に亙つて公開されるが當日晝間には大連醫院產婦人科醫長原博士が「女性固有の生理的現象に就て」と題し女性衞生について講演を行ふ、當局の條件付許可のために一般の男性は觀覽出來ないが女學生は三年以上に限り入場出來る、映畫新女性線は文字の代りにスクリーンを通じて女性保健衞生を教へた生理教科書で興味的なものでなく、專門醫家の適宜なる解說を伴へば相當有益なものである、なほプログラムは新女性線のほか最初に「人生案內」を上映最後に極彩色漫畫七本を添へる

私語線

日活俳優杉狂兒の妹杉純子さんは大連會館の玉置君に連れられ來滿賣出されてゐたが數日前ダンサーの正式許可が下りたので大連會館でステップを踏んでゐる、旣報慶大野球選手だつた水原君の新興入りは愈々確實で新興本社宣傳部では旣に水原君賣出の準備を行つてゐる、例によつて水原君を主演としたスポーツ映畫をやるらしいが聞けば水原君は奉天黃バス會社に入社來滿以前に旣に新興との間に入社の交涉はあつたらしい奉天實業で活躍を名殘に近く離滿キネマ入りをなす筈

ゴルドシュタイン氏の 偉大なる神技！
期待される演奏會

巨匠、ゴルドシユタイン氏夫妻滿鐵音樂會主催、滿鐵社員倶樂部、本社後援の下に二十三日大演奏會を催すゴルドシユタイン氏はピアノ伴奏のジロン夫人と共に十七日より毎日夏家河子より協和會館に通つて練習を行つてゐるが氏のヴアイオリンはロシヤ革命亡命後是まで歐米のステーヂに立たなかつたため世に餘り知られてないがその神技はヂンバリスト氏と共に偉大なものとして大連における第一回公演を期待されてゐる（寫眞はゴ氏及びヂロン夫人）

胃腸榮養 わかもと

夏の衰弱と腸疾患

暑熱のために、虛弱體質者、胃腸衰弱者が、食慾不振となり、消化機能減退して、所謂「夏負け」なる榮養低下の狀態に陷り、或は結核の如き慢性衰弱が一層その衰弱を重加するに對し「わかもと」は從來の如何なる榮養劑、强壯劑にも代つて投與さるべき衰弱恢復劑である。

何となれば從來の榮養劑、强壯劑はその成分が單一、若しくは二三種に限られ、その全部が消化吸收さるゝとも、人體必須の榮養總量に比すれば微々として云ふに足らず、或は過剩症の害を怖れなければならぬ場合もある。

然るに「わかもと」は各種の榮養素を網羅し

單一榮養劑の如く適應症の範圍が限局されず、汎く各型の衰弱疾患に適用せられ、過剩症の虞れなく、しかも榮養增進の效果に至つては、單に榮養素を補給するのみでなく、胃腸の消化、吸收、同化、排泄等、身體の榮養に關聯するすべての機能を賦活して、食慾を增進し、新陳代謝を活潑にし自力的に日常の食物より充分に榮養を攝取するに至らしめるが故に、よく暑熱に耐へて、體力を增進し、衰弱を恢復防止するのである。

夏季に多き急性慢性の腸カタルに對し「わかもと」は乳酸菌劑の如き腸內殺菌作用、蒼鉛劑の如き收斂作用、炭末劑の如き毒素吸著作用、チアスターゼ其他の如き

消化補助作用を併有せる效果を發揮しその效果はそれぞれの單獨のものより遙に强い。されば「わかもと」を投與するに當つては、敢て他藥を配伍する必要なく、單味にしてよく腸の炎症を寛解し、消化吸收の機能を恢復し、自然的に下痢便を正常便とし、食慾を振起し、衰弱を恢復する。

殊に、食物の變敗、暴食等による急性腸カタル、食餌中毒等の急激なる發病にあたつて、大量を數回連續して投與するは、最も推奨さるべき療法であつてこれによつて有害食餌と生成せる腸內毒素の排泄を迅速にし、その吸收による中毒症狀を豫防し、短少時間に治癒に至らしめる。

小兒發育要素としてのわかもと

人體の構成及び生理作用は、きはめて複雜微妙にして試驗管內において行はるゝ實驗の可能を超越せるもの多く、從つて人工的に合成したる榮養劑は效果局部的にして、作用も剴切ならざる憾みあり、反之「わかもと」はヘーフエ菌中サカロミセス菌に屬する微生物を、活性の儘製劑せらるものなれば、その組成の複雜微妙なる點において、またその作用の剴切なる點において、遙かに在來の人工合成榮養劑を凌ぐものあり。

貴重なる「高級アミノ酸」

まづ第一に擧ぐべきは、小兒の體組織を構成する上において缺くべからざる、リヂン、ヒスチヂン等の高級アミノ酸を含有せる事である。單に體組織の構成のみならず、健康を維持し、正常なる生活機能を保持する上において、アミノ酸の意義は最も重大であり、その種類も亦甚だ多いが、リヂン、ヒスチヂン等の如きアミノ酸は、日常食品中に尠少なるものであり、從つて母乳中にも豐富ならざる場合が多いが「わかもと」はこれ等を純良なる形において含有し、發育、成長を助長し、鞏固なる體組織の形成を可能ならしめる。

豐富なる「ヴイタミン群」

成長發育途上にある小兒にあつては、旺盛なる代謝作用の爲に特に多くのヴイタミンを要し、大人にあつてはさしたる障碍を起さぬ程度の缺乏も、屢々重篤なる榮養障碍を惹起する。

特にヴイタミンBの缺乏は、體重增加に最も重大なる關係を有する含水炭素の代謝障碍を惹起し、所謂消化不良、乳兒脚氣等の症狀を呈する。またヴイタミンDの缺乏は、骨格形成の主榮養素たる燐、カルシウム等の代謝障碍となり、骨軟化症、佝僂病等の症狀を發するは周知の事實である。

然るに「わかもと」主菌たるヘーフエは、ヴイタミンBの含有率において、微生物中最大といはれ、母體を通じ、或ひは乳幼兒に直接與ふることによつて、消化不良、乳兒脚氣等を豫防し得るのみならず、ヴイタミンD、またその母體たるエルゴステリン、或ひは燐、鐵、加里、カルシウム等の骨格形成榮養素をも含有して、佝僂病、骨軟化症等の豫防をもなし得る。

母乳の缺陷を「補正する」

元來ヴイタミンは、すべて食品中より攝取せざる限り、體內においては合成せられざるものなれば、授乳中の母體は動もすればヴイタミン不足を來たし易く、一九二八年のエヴアンス氏、ブール氏及びスーアー氏等の研究によれば、授乳婦人は常時の三倍乃至五倍のヴイタミン特にBを要するといふ。かゝる場合普通の食品中より、所要のヴイタミンを攝取することは甚だ困難であるが「わかもと」は前述の如くヴイタミンB及びDに富むのみならず、A、E等も尠からざるを以て、十分に母乳のヴイタミン不足を補ひ、他の綜合榮養素と相俟つて、乳兒の榮養障碍を未然に防止し得るのである。

人工榮養兒の「理想的哺育料」

人工榮養兒の哺育料としては、牛乳が最も多く使用されるが、牛乳の成分は人乳に比し蛋白質の含有量において勝り、脂肪は略々同量、含水炭素量に於て劣るを以て水を加へて、蛋白質を稀釋し、一方白砂糖を加へて含水炭素量を增加し、時にあるひは少量の脂肪を加へて用ふるを普通とする。

メーヤー氏の研究によれば、乳汁中における脂肪及び含水炭素は常に拮抗作用を有し、脂肪1に對し含水炭素2の比を保つ事を要すといひ、この均衡を失すれば、脂肪過多の場合は發育が遅れ、含水炭素過多の場合は抵抗力の減弱を來たすといふ。

然るに牛乳を稀釋して、糖分を添加する場合、含水炭素代謝要素たるヴイタミンBを伴はざる爲、對脂肪の量比均衡を失し、屢々消化不良其他の榮養障碍を惹起し易いが、かゝる場合に「わかもと」の少量を牛乳中に混和して用ふれば、各種のヴイタミンはじめ其他の貴重なる榮養成分の調和によつて、脂肪、含水炭素の均衡をも保つことを得て、榮養障碍をも防止し正常なる成長發育を遂げしめるに到る。

虛弱腺病質を「改造する」

「**わ**かもと」は前述せる如き許多の貴重なる榮養素を綜合含有せるのみならず、同時にチアスターゼ、マルターゼ、ラクターゼ、プロテアーゼ、リパーゼ、ラーブ等々其他十數種に上る酵素を抱含せるが、これら酵素は悉く活性にして所謂「細胞原形質賦活作用」Proto-Plasma Aktivierung を有し、人體組織の根本單位たる細胞機能に對して再生の活力を賦與し、よく衰退せる虛弱機能を鼓舞更生せしめ得る。

而も「わかもと」は生物劑なるを以て、含有成分は有機的の結合によつて互に相調和しその作用は峻烈ならず、かつ連用によつて自然の作用を以て徐々に體組織を强化し、常用せしむれば益々生活力、抵抗力を增大し、自然に虛弱體質、腺病質を改造して、著しく成長發育を助長し得るものである。

ローゼノン博士

メラーメ博士

アントワンヌ博士

わかもと主菌ヘーフエに關する「海外諸大家の文獻」

著しく發育を增進す
幼弱家鼠に就いての實驗

ミンスク科學研究所生理學室 エル・ローゼノン

普通榮養の下に飼育せらるゝ家鼠の55gより80gに到る間に於ける發育は時間と共に直線的に增す、鼠は裸麥にて飼育しても同樣に發育するも今之に牛乳を加へて與ふるに發育は別に變らない。

こゝに提供する著者等の實驗は普通榮養にて飼育せる幼鼠にヘーフエを與へた時の發育狀況の觀察である。

實驗は各列十匹の幼鼠を牡三匹、牝二匹づつ二組に分け一組は常に之を對照として扱つた。次に示す表はその成績を體重增加の絶對量及比例にて示してゐる。

この實驗によりて著者等は、ヘーフエ加飼料にて試育せる幼鼠は普通飼料によるものよりも二四日間に三十乃至六十%の發育の良好を示せるを知れり。(Bsochew. Z. 228•1930)

	鼠番號	性	八月十八日 體重	九月十一日 體重	加增重體 絶對	加增重體 百分比
對照	1.	♂	44.35g	62.95	18.60	42%
	2.	♀	49.05	66.05	17.00	35%
	3.	♂	36.75	52.90	16.15	44%
	4.	♂	39.65	52.20	12.55	32%
	5.	♀	49.70	63.90	14.20	29%
合計			219.50	298.00	78.50	36%
酵母加飼育	6.	♂	36.85	61.70	24.85	67%
	7.	♂	41.85	71.50	29.65	71%
	8.	♂	35.55	62.10	26.55	74%
	9.	♀	46.00	66.90	20.90	45%
	10.	♀	41.00	60.50	19.50	48%
合計			201.25	322.70	121.45	60%

食慾を增進し倦怠感を除去す

佛國 ル・レポー病院長 サムエル・メラーメ博士

衰弱の加はる患者に對しては、余はヘーフエ菌劑を服用せしめる。それによつて食慾を恢復し、體力も亦速かに恢復に趣くからでもある。

——舌苔、口臭、全身倦怠及び皮膚汚損等の症狀は多く腸障碍に起因することかゝる場合に下劑を常用することは、病勢の惡化に役立つのみである下劑は一時的に症狀の減退を來たすこともあるも、結局において腸機能の衰耗を助長する。

症狀を病原より除かんと欲すればヘーフエ菌劑を用ふるが最も自然である。ヘーフエ菌劑は腸筋肉を强め倦怠感を緩解し、副作用なくして機能を鼓舞し、連用せしむるも習慣性を來たすことがない。

ヘーフエ菌劑はその治病能力に加へて、ヴイタミンB、D、Gに富むことはあらゆる食品の上にあり、而もこれらのヴイタミンは、吾人の日常食品中に最も不足し易きものである。——豐富なるエネルギー、熱心なる食慾、良好なる消化力、清新なる皮膚、其他健康の喪失によつて失はれたる幸福は、ヘーフエ菌劑の服用によつて恢復し得られる。

(レディス・ホーム・ヂヤーナル誌所載)

皮膚を清新ならしむ

佛國 グラシエール病院 エドウアル・アントワンヌ博士

ヘーフエ菌は腸機能を調節し、その組織を文字通り强化するを以て、便通は規則的となり、自ら頗る精力の增大を感ずるに到る。同時にまた消化作用は改善せられ、風邪に罹り難き體質を造るが、特筆すべきは、皮膚を美化し滑かにする點である。卽ち汚染を去り肌を細かにし、清新の美を發揮せしむるは、他の藥劑または化粧料の到底及ばざる所である。

(レディス・ホーム・ヂヤーナル誌所載)

適應症

- **慢性衰弱症** 肺炎・肺結核・腸結核・肋膜炎・カリエス・貧血・脚氣・神經衰弱
- **胃腸諸症** 胃腸加答兒・胃酸過多症・胃アトニー・胃擴張・胃潰瘍・食慾不振・便秘
- **虛弱乳幼兒** 消化不良・綠便・粘便・虛弱人工榮養兒・腸カタル
- **姙產婦衰弱** 惡阻・產前產後の衰弱・乳汁分泌不足・胎兒の發育
- **疲勞老衰** 中年期衰弱・早老・スポーツ、勞働精神作業のエネルギー補給

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
大連市東公園町三十一番地　發行所　滿洲日報社
昭和三年八月十二日第三種郵便物認可

北鐵交涉が決裂せば滿蘇の均等權を要求
滿洲國當局今後の方針

【新京十九日發國通】大橋外交部次長一行は十九日午後七時半歸着、直に謝外交部大臣に北鐵交涉の經過と引揚げ事情を詳細報告後、今後執るべき態度につき外交部、交通部の首腦者を交へ協議の結果、左の方針で邁進に決した

一、ソ聯が廣田案を承認するか、又はこれに接近せる提案をなし協調的精神を示さぬ限り代表を送らぬ

一、ソ聯が將來協調的提案をせれば交涉決裂と看做し、滿洲國は屢々聲明せる通り責任を分たない

一、交涉決裂後奉露協定に基く滿ソ均等權を要求し、實行と共にソ聯側の專斷に任す事を拒む

蘇聯一流の逆宣傳
わが當局猛省を促さん

【東京十九日發國通】ソ聯側は交涉の途中にある北鐵讓渡問題に關し折衝の經過を發表して日滿兩國に誠意なきが如き宣傳を爲して居るに對して、わが外務當局は極度に憤慨

抑も我國はソ聯側が仲介を依賴して來たので廣田外相がソ滿兩國の間に立つて仲介折衝を進めて來たのである、廣田外相が兩者の主張を充分考慮し仲介最後案を提示したのに對し、ソ聯側はこれさへも拒否し去るが如き態度を執つたので、大橋滿洲國外交部次長は遂に引揚げるに至つたものである、ソ聯側にして誠意を示しさへすれば代表の一人である丁士源公使もゐる事であり、大橋次長も何時でも引返して來るといつてゐるのである然るに滿洲國にのみ讓歩を迫りソ聯側の最後案なるものを提示せずして徒らに交涉を遷延せしめて居るのみならず、折衝の途中にある問題を暴露し自國の非を蔽はんがため北鐵不穩計畫犯人を逮捕せる北鐵に對して壓迫を加へたるが如き逆宣傳を爲し停頓の責任を日滿兩國に負はさんとする如きはソ聯側一流の奧の手であつて、その不誠意なる態度が今日の如く會商を停頓せしめてゐるものである事を知らればならぬ

斯くてソ聯側の不誠意に猛省を促す事になつた

蘇聯の逆宣傳は物笑ひ

【ハルビン十九日發國通】北鐵讓渡の東京會議停頓するや、ソ聯は御用新聞イズヴエスチヤ及プラウダ其他の紙上を通じて日滿兩國は種々の報復手段に戀へんとしてゐるとの非友誼的記事を挿入して國民の注意を喚起する狂態ぶりを發揮してゐるが、ソ聯側は今日迄の幾多の對滿洲國不法事件に關し常に沈默を守り、一度自國が不利の立場に迫るや盛んに逆宣傳を開始する有樣だが、ソ聯の國際信義無視は寧ろ傳統的といはれ從つて現在の日滿兩國に對する誹謗も一般に一笑に附され、反對に物笑ひの種となつてゐる

宣傳指導者急遽歸國

【ハルビン十九日發國通】わが官憲が頻々たる北鐵列車顚覆事件の犯人として二赤系從業員を檢擧した事に關し、ソ聯側は右は東京會議が事實上お流れとなつた今日、日本の北鐵奪取の前提であると出鱈目な宣傳を開始してゐる折柄、北滿ソ側共產黨の指導者として暗躍してゐた北鐵監事マゴン氏は十九日午前八時三十分發モスクワへ急行した、マゴン氏が北滿の近況を報告した後のソ側の對滿態度こそ見ものとされてゐる

大橋次長歡迎會

【新京十九日發國通】過去一ケ年餘に亘り我等が代表として北鐵權益讓渡交涉に當つた大橋外交部次長一行は交涉停頓の儘十九日午後七時三十分はさて歸任市民は一行の勞を犒ふため既報の如く歡迎大會を行ひヤマトホテル玄關にて歡迎代表として市自治委員長王莉山氏が左の歡迎の辭を朗讀した

一年二ケ月の長時日に亘り北鐵讓渡交涉に當れる大橋外交部次長一行本日の歸國に際し二十萬市民を代表深甚なる敬意を表す顧みるに我國の外交は萬邦協和を以てその本旨とし、友邦日本の同情と援助により交涉の圓滿を圖り、東亞永久の平和を保持せんとせり、測らざりき蘇聯は傳統の極東政策を以てこの友好的交涉に毫も誠意を示さず、爲に一年有餘に及びてなほ解決を見るに至らざりしは、吾人の眞に遺憾に堪へざる所なり、我大橋次長一行は誠心誠意國家のためこの世界的大事件なる北鐵交涉に盡瘁終始政府訓令を遵守し國民の輿論を詳かにし良くその職責を果されたり、所期の結果を得るに至らずと雖もその責蘇聯にあるは瞭らかにして、我ら國民にして諒解せざるものなし今後蘇聯にして前非を悔ひ誠意を示さざる限り吾人は最早再び交涉に應ずるの要なきを痛感す茲に聊か無辭を述べて歡迎の意を表す

豫算編成の難關
各省基準豫算の膨脹

【東京十九日發國通】十年度豫算は收支の均衡を圖り財政內容を强化することが岡田首相の豫算の根本方針であるが、既に財務當局に出揃つた各省豫算概算書を通算すれば、基準豫算において前年度より約二億三千萬圓を

超過

し實に十六億五千萬圓といふ未曾有の巨額に達してゐる、然るにこの基準豫算は性質上殆ど削減困難にあるので、若し財務當局が岡田內閣の豫算編成方針を嚴守して來年度豫算を少くも九年度豫算總額たる二十一億圓或は二十億圓に喰ひ止めんとすれば當然新規要求額約十二億圓は三分の一或は四分の一に削減された四億乃至五億の程度しか承認されない事になる、而して新規要求中、滿洲事件費、爲替差損金その他合計二億五千萬圓は絕對必要避くべからざるものであるので殘りの三億圓內外が國防費第一主義で振り當てられるものと觀られる、然るに一方

農村

の匡救費を國防の犧牲として全滅せしめる事は農村の狀狀よりして由々しき問題であるので、財務當局は勿論充分なる考慮を拂ふ筈であるが、これとても結局四、五千萬圓程度に止めるを餘儀なくされるので明年度豫算の編成に當り財務當局は各省基準豫算の膨脹に依つて例年と又別個の意味で一大暗礁に乘り上ぐるに至つた

在滿機關改革問題 (二)
滿洲問題を取扱ふ中央の複雜な關係
影薄くなつた拓務省

九・一八事件直後の日本の對滿政策を指導し、決定し實行したものは軍部である、日本の政界はこれを默認し、國民はこれを是認した、しかし事變の昂奮が鎮靜すると共に、靑年參謀が樂を横へて政を見るやうな遣り方を續けるわけに行かぬので、何か新しい中心機關を設ければならなかつた、この要求に對して生れたのが、全權大使、軍司令官及び關東長官を同一人で兼ねしむるいはゆる三位一體策であつた

◇

事變前までは滿鐵、領事館、關東廳及び關東軍がそれ／＼自己の判斷と政策で事に當り、屢々不統一を暴露し「四頭政治」の惡評があつたので、これを統一するために外務、陸軍、拓務の三者の仕事を軍司令官が兼ね行ひ、その直接監督下に滿鐵を置いて一元化を試みた、これは今までの法制をそのまゝにして、その許される範圍內で人的に一元化したのだから、比較的簡單に實現することが出來た、しかし簡單な方法をとつた事が即ち今日の三位一體改革論の原因をなしてゐる

◇

現地の一元化は恰好だけついたが、問題は中央に殘つてゐた、事變以來、人事不當に陷つてゐた拓務省が時を經るにつれ漸く息を吹き返して來た、殊に拓務省に大きな活を入れたのは滿鐵改組問題に對する現地の騷ぎだつた、事變以後の軍部の滿洲に對する政策は常に大なる反對なしに實行されたものだが、ここに始めて有力な反對意見が對峙し軍の主張も强行し難く見えた、拓務省はこの輿論の波に乘つて、拓務省の滿鐵に對する法成上の權限を楯にとつて改組案を阻止した

◇

そこで國民の前にかういふことが明かになつた、即ち對滿政策を實行する力のある者は軍部であり、實力のある者には權限がなく、權限あるものには實力がなく、法制上對滿政策に最も發言權を持つてゐるのは拓務、この他にも、外務、大藏、商工、農務などそれ／＼の方面から發言權を持つてゐるのだから中央における對滿政策の取扱は全く複雜多岐とならざるを得ない

一つの實例でその混雜ぶりを說明すると、事變前までは滿鐵の豫決算は關東廳に形式的說明をなし、中央で拓務、大藏兩省の認可を得れば濟んだものだ、それが此頃では關東廳、軍司令官、幕僚、交通監督部長に說明諒解……から色々の批評が起きてゐる程だ、中央は混亂し、現地は戶惑ふ、誰が見てもこゝらで何とか方向轉換をせねばならぬ時機である

◇

軍はこの方向轉換の最も端的か……

警察操典改正
警官の大部隊行動訓練を目的
全國に警察無電設備

內務省危局對策

【東京特電十九日發】一九三五、六年の危機に向つて全國の左右兩翼が如何に動きかけるかは今から內務省の頭痛の種となつてゐる、これに對し全國の保安を承はる警保局では警察官の大部隊行動を訓練するため警察操典を改正、更に警察官の增員など警備力充實のため適當の方法を考究、警保局のあらゆる新規計畫はこの危機の一點を中心として立案されてゐるが、今回更に內務省の指令を各府縣警察部へ一瞬の間に知らせるため警察無線電信を計畫し近く後藤內相は床次遞相と會見、波長問題その他について政治的交涉をなすことになつた

機關長更迭招宴

【ハルビン十八日發國通】小松原少將、安藤大佐の新舊ハルビン特務機關長は十八日午後六時半より日滿要人百餘名を北鐵俱樂部に招き離別新任挨拶を兼ねた盛宴を張つた

日銀上期業績
純益三千餘萬圓

【東京十九日發國通】十八日日銀總會で同行の營業報告によると、昭和九年度上半期の純益金は三千六百十萬一千圓で日銀制度改善以來の最高記錄に達した、これが原因は

一、同行引受の國債賣行が極めて良好でその利益三千萬圓に達したこと

一、短期債即ち大藏省證券、米穀證券を手持しその利息收入が增加したこと

等に依るもので之がため日銀の政府に對する納付金は二千八百二十一萬二千圓と前期に比し一千六百四十一萬四千圓の增加を示し大藏省が本年度豫算に計上した分を半年のうちに納めて餘りある數字を示すに至つた

軍部積極的には增稅を主張せず
結局公債にて支辨か

【東京十九日發國通】林陸相は現在の財政狀態から見て四億……んとする巨額の新規要求額を當局に承認せしめる事につき相當苦慮してゐるが、この際は國際危局に對應するため止むを得ざる最少度の要求である萬一この新規要求を財源の理由に承認せざる場合は陸軍としても何等かの方向を拔擢しなければならぬ財源關係について關係當局をして考究せしめてゐる、然し陸軍關係當局の意向では一部方面で明年度豫算編成に當つて軍部において增稅を要求する如く見てゐるが、軍部として一、二の特殊方面に對する增稅を要求する事は考へられるが、積極的に增稅斷行要求の意思はないので結局公債支辨によるのではないかと觀られてゐる

辭意固き追司長
丁交通部大臣ら熱心に慰留中

【新京特電十九日發】過般不慮の死によつて辭表提出の交通部總務司長追喜平次氏は新發屯の自宅において告別ひ未だ交通部に出勤せず

專ら

謹愼中で傳へ表の提出も公務上の過失ではないので專ら慰留中である、丁交通部大臣からはまだ辭表の事に付いては何等の報告にも接して居ない、後任者を如何にするか等に付いては全然考へて居ない

橫山龍一氏
きのふ歸連す

關東廳財務局理財課長を辭任後滿……

國策審議會
構成と審議項目
對政黨工作を加味

【東京十九日發國通】國策審議會設置問題については漸次その機運熟し、床次遞相は近く岡田首相と會見これが設置を促進する事に決定したが、審議機關構成、審議項目等に關しては後藤內相を中心に次の如く床次遞相、町田商相、內田鐵相等の間で審議されて居る

一、審議會の構成は會長を岡田首相とする事、委員には貴衆兩院各派代表の閣僚級の人物を嚴選し委員の數は十名內外とする事幹事は關係各省の次官とし幹事長は河田書記官長とする

一、審議項目の主なるものは綜合的產業政策の具體化、稅制財政の整理教育制度の根本的改革等

一、審議機關の權能は大體首相の諮問機關とするが、場合によつては審議會決定事項を政府に進言し得るものとす

而して審議會の構成に關しては特に屋上屋を架するが如き事を絕對に避け政友、民政、國同及び貴族院各派の代表を構成メンバーとして名實共に擧國一致の形態を具へんとするもので對政黨工作が多分に加味されてゐるものとして注目される

陸軍新規要求
五億六千萬圓

【東京十九日發國通】明年陸軍新規要求は今月中に大藏省へ提出するが、內容は左の通り

滿洲事件費	一億三千萬圓
資材整備費	約一億百萬圓
國防々空充實	七千萬圓
兵器改善費	四千萬圓

合計三億五千萬圓で先月末提出要求の千六百萬圓を加ふれば明年新規要求額は三億六千六百萬圓で、標準豫算の二億萬圓を合せば豫算總額五億六千六百萬圓に上る譯だ

駐哈米領事着任

【ハルビン十九日發國通】新任駐哈アメリカ總領事アダムス氏着任した

宇佐美中將

【新京十九日發國通】騎兵監に榮轉の宇佐美中將は十九日午後七時半着はとにて來京した

人事

▲橫山龍一氏（滿洲國財政部理財科長）十九日入港しあさる丸で歸連

▲大內成美氏（大連市會議長）十九日午後四時二十分發列車にて北行

▲井上經氏（岡崎汽船重役）十九日午後七時三十分着列車にて來連遼東ホテルへ

▲杉廣三郎氏（鐵路總局次長）同上ヤマトホテルへ

▲秋豐氏（鐵路總局運輸科長）同上

▲黑岩直溫氏（滿洲國實業部庶務科長）同上

大觀小觀

今年は極東水禍の年、安東水害に至つて極まる▲地獄の圖にも見ない水地獄、水餓鬼道▲地藏菩薩は差詰め滿鐵、盛んに技師、應援員、水運機、握り飯を送る▲アリゾナ州の日本農排斥騷めて露骨、これが人道主義の米人のすることか▲ブラジル日本移民の排斥にも、英米の手が入つてゐる事漸次暴露し來る▲支那の排日に火をつけ、更に油を注いだのも英米の仕業、支那人だけではあれ程にはならなかつたのだ▲日本が國際聯盟を捨てたのを奇貨とし、ロシアを聯盟に入れんとするのも英米の外交術▲某神道系の雜誌に現代に於て八岐のをろちの妖靈に憑かれてゐるのが某國人だとある▲さう見れば見られぬこともない……

覇權を目ざして 白熱戰を演ず
滿鐵體育ボール大會

【奉天特電十九日發】滿鐵運動會主管、本社主催の第五回全滿鐵體育ボール大會は十九日午前に引續き奉天國際運動場において續行、午前中の灼熱の風も午後は曇天となり涼風吹き絶好のスポーツ日和で觀衆も亦續々來場聲援し、各出場選手は力戰の結果男子A組は鐵道工場能率係全勝し、女子チームは鐵道部みどりクラブ三戰三勝し、又男子B組は日沒となり續行不可能となり午後七より奉天醫大屋內コートにおいて擧行する事に變更一先づ午後六時四十分全競技終了の各チームは中央役員席前に整列し倉橋奉天誠所長の閉會の辭あり男子A組の優勝チーム鐵道工場能率係A組に佐藤優勝盃を、又女子優勝チーム鐵道部みどりクラブに由本、松岡前正誠總裁優勝盃其他各チームに賞品授與あり、なほ午後七時より續行の男子B組奉天鐵道事務所と鐵道工作課は白熱戰を演じ遂に鐵道事務所がストレートで工作課を一蹴し林理事寄贈の優勝盃を獲得、原田大會委員長より優勝盃を授與午後八時三十分閉會した

男子A組
△鐵道工場能率A2—1計畫部業務
△鐵道工場能率A2—0沙研A
△鐵道工場能率A2—0第三埠頭
△第三埠頭2—1計畫部業務
△計畫部業務2—0沙研A
右の結果成績順位左の如し
第一位 鐵道工場能率A三戰三勝
第二位 計畫部業務、第三埠頭、沙河口研究A一勝二敗

男子B組
△總局工作科2—0貨車職場
△大石橋機關區2—0大連驛
△大石橋機關區2—1總局工作科
右の結果A組鐵道工場貨車、大石橋機關區二勝一敗の同率となつたので再度決勝の結果大石橋機關區優勝

男子B組
△奉天鐵事2—1工場庶務係
△奉天鐵事2—1工場庶務
△奉天鐵事2—0沙研B
△建設局計畫2—0工場庶務
右の結果成績順位左の如し
第一位 奉天鐵道事務所三戰三勝
第二位 建設局計畫課二勝一敗
第三位 鐵道工場庶務係一勝二敗
第四位 沙河口研究B二敗

男子B組
△四平街地事2—1楊柏堡採炭所
△四平街地事2—0大山採炭所
△鐵道部工作課2—0大山採炭所
△鐵道工作課2—0楊柏堡
右成績の結果順位左の如し
第一位 鐵道工作課三戰三勝
第二位 四平街二勝一敗
第三位 楊柏堡一勝二敗
第四位 大山採炭三戰三敗

男子B組
△鐵道工務課2—0蘇家屯機關區
△撫順機械2—0鐵道工務課
△撫順機械2—1撫順製油
右成績の結果鐵道工務課三戰三勝して優勝す
△奉天鐵事2—0大石橋
△鐵道工作課2—1商事部庶務
右の結果商事部庶務課、鐵道部工作課、奉天鐵事、大石橋機關區各優勝再度對戰さなる

男子B組優勝戰
△奉天鐵事2—0工作課

男子C組
△蘇家屯機關區2—0鑄物工場
△商事部庶務2—1工場能率B
△商事部庶務2—0能率B
△工場能率B2—0蘇家屯列車區
右の結果商事部庶務、蘇家屯列車區、工場能率係各々二勝一敗となつたので再戰の結果商事部庶務優勝

女子チーム
△柏楊會2—1總局女子
△鐵道みどり2—1本社雲雀
△本社雲雀2—1總局女子
右の結果成績順位左の如し
第一位 鐵道部みどり三戰三勝
第二位 雲雀二勝一敗
第三位 柏楊會一勝二敗
第四位 總局女子三戰三敗

體育ボール大會女子の競技

小、拳銃射擊會

第六十六回小銃射擊並第卅一回拳銃射擊會は十九日午前八時開始、入賞者左の通り

特別一等射手
△一(三六)松野新一△二(三五)安田孝三△三(三五)前田春一

一般射手
△一(四一)加藤知章△二(四〇)河野延壽△三(三九)江頭米作△四內海喜四郎△五津島竹久助△六小鹽濱市△七星野啓次△八山田喜四郎△九足立政明△十石井文三

學生青訓射手
△一(四三)川口一郎△二(四三)佐藤恒誠△三(四一)間山勝己△四緒方秀直△五土田正幸△六松尾盤知郎△七湯山隆郎△八中島文雄△九佐藤正雄△十平野雪男(以下略)

拳銃射擊成績
特別一等射手
△一(四五)安田孝三△二(四三)丹治正市

一般射手
△一(四六)小鹽濱市△二(四五)寺田良之助△三(四四)田上良穗△四(四四)茂見孝之△五西坂哲夫△六安穗嘉一郎△七島田千秋

學生青訓生徒
△一(四八)村田七郎△二(四三)太田博△三(四三)鴻野直文△四米岡誠市△五藤井英地△六岩谷元治△七屋舖健治

大商優勝す
全滿中等校水上競技

南滿水泳協會主催の第六回全滿洲中等學校水上競技會は十九日大連運動場プールに開催、出場校は滿鐵育成、大連一中、同二中、大連商業、旅中の五校で參加選手は六十名に上り、主催者側より協會總務渡邊諒氏の開會の挨拶あり昨年の優勝校大連一中よりカップ返還、引續き五百の觀衆の待望裡に新記錄を目指して午後一時半二百米自由型豫選をトップに開始されたが大商總計三十一點を獲て優勝した

△二百米自由型豫選 A組1細元(育成)二分五十一秒六、2安田(旅中)3峰松(大商)B組1小平(大商)二分三十九秒九2增尾(旅中)3秋吉(育成)
△二百米平泳豫選 A組1赤松(大商)三分二十八秒七、2澤田(旅中)3長尾(二中)B組1田口(大商)三分十七秒一2木村(旅中)井上(一中)
△百米自由型豫選 A組1柳(旅中)一分七秒四、2佐藤(一中)3岡(旅中)B組1關(大商)一分十秒九、2肥後(育成)3林(大商)
△五十米背泳豫選 A組1細川(大商)三十六秒九、2伊藤(二中)3出田(旅中)B組1馬場(育成)三十八秒七、2牧野(二中)3木村(一中)
△四百米自由型豫選 A組1小平(大商)五分五十二秒七、2增尾(旅中)3市川(旅中)B組1史(二中)六分十六秒二、2眞野(大商)3村山(旅中)
△五十米自由型豫選 A組1柳(旅中)二十八秒五、2伊藤(二中)3花田(二中)B組1佐藤(一中)三十秒二、2中川(一中)3長尾(育成)
△百米平泳豫選 A組1木村(旅中)一分三十一秒三、2井上(一中)3平林(大商)B組1田口(大商)一分三十三秒、2原田(一中)3(大商)
△八百米リレー決勝 1大商(關林、眞野、小平)十一分二十二秒八、2旅中3育成
△百米平泳決勝 1原田(一中)一分三十秒四、2井上(一中)3田口(大商)4木村(旅中)
△五十米自由型決勝 1(滿洲並大會新記錄)柳(旅中)二十七秒九、2伊藤(二中)3佐藤(一中)4花田(二中)
△四百米自由型決勝 1(本會新記錄)史(二中)五分三十五秒、2小平(大商)3增尾(旅中)4眞野(大商)
△五十米背泳決勝 1細川(大商)三十六秒四2伊藤(二中)3馬場(育成)4牧野(二中)
△百米自由型決勝 1柳(旅中)一分七秒四、2佐藤(一中)3岡(旅中)4肥後(育成)
△二百米平泳決勝 1田口(大商)三分十六秒四、2木村(旅中)3井上(一中)4赤松(大商)
△百米背泳決勝 1(本會新記錄)細川(大商)一分二十三秒、2馬場(育成)3牧野(二中)4太田(育成)
△二百米自由型決勝 1小平(大商)二分三十五秒四、2增尾(旅中)3細元(育成)4秋吉(育成)
△千五百米自由型決勝(本會新記錄)1史(二中)二十二分四十七秒、2眞野(大商)3秋吉(育成)4村山(旅中)
△二百米リレー決勝(滿洲並に本會新記錄)1旅中(增尾、出田、岡、柳)二分二秒四、2二中3育成(寫眞は新記錄を得た柳選手)

滿鐵色別相撲 樺組優勝 個人も樺組鬼塚

第三回滿鐵各部色別對抗相撲大會は十九日午前十時から大連運動場裏土俵で擧行されたが一昨年の優勝組樺組斷然優勢を示し昨年の覇者海老茶を破つて優勝、次いで後半斷然勢ひを盛り返した綠組二位を占め最後に全勝者個人優勝戰あり、これも樺組鬼塚優勝、戰ひ終つて滿鐵相撲部長代理北條秀一氏から優勝組樺組に優勝旗を、支部對抗優勝盃鐵路總局(不戰優勝)に優勝杯を、その他個人勝者にそれぞれ賞品の授與あり午後四時四十分閉會した、午後の成績左の如し

黃組4—2赤組
成松(寄り倒し)松本○
○小原(下手投げ)奥田
○石田(棄權)吉田
○櫻井(上手投げ)二本柳
內野(突き倒し)顯川○
○楠田(內かけ)山岡

樺組5—1綠組
神山(下手投げ)濱田○
○伊藤(寄り切り)日置
○明石(打ちやり)英
○榎本(やぐら)平野
○鬼塚(吊り出し)麻生
○山本(寄り倒し)前田

海老茶組5—1赤組
○水島(もたれ込)松本
○鹽田(打ちやり)奥田
○森(棄權)吉田
○菅原(內がけ)二本柳
小林(突き落し)顯川○
○田中(吊り出し)山岡

白組4—2黃組
○木村(捻ひ投げ)成松
○小林(吊り出し)小原
○高橋(寄り出し)石田
川上(押し切り)櫻井○
世濵(上手投げ)內野○
○大野(そり)楠田

海老茶組2—4樺組
水島(そり)神山○
○鹽田(寄り切り)伊藤
森(寄り出し)明石○
菅原(內無双)榎本○
小林(吊り出し)鬼塚○
○田中(打ちやり)山本

白組5—1赤組
○木村(腰くだけ)松本
○小林(頭ぶれり)奥田
○高橋(棄權)吉田
○川上(突き倒し)二本柳
世濵(寄り出し)顯川○
○大野(送り出し)山岡

綠組5—1黃組
○濱田(下手投げ)成松
○日置(もたれ込)小原
○英(上手投げ)石田
平野(小手投げ)櫻井○
○麻生(蹴たぐり)內野
○大野(寄り倒し)楠田

樺組5—1赤組
○神山(寄り切り)松本
伊藤(下手投げ)奥田○
○明石(棄權)吉田
○榎本(打ちやり)二本柳
○鬼塚(いさみ足)顯川
○山本(跨み切り)山岡

白組0—6綠組
木村(上手投げ)濱田○
小林(打ちやり)日置○
高橋(外かけ)英○
川上(寄り倒し)平野○
世濵(突き出し)麻生○
大野(押し切り)大野○

海老茶組4—2黃組
○水島(すかし)成松
○鹽田(寄り倒し)小原
森(捻ひ投げ)石田○
○菅原(たけ出し)櫻井
小林(もたれ込)內野○
○田中(吊り出し)楠田

▲第一位樺組二四點、第二位綠組二一點、第三位海老茶組一九點、第四位黃組一〇點、第五位赤組六點、同白組一〇點

個人全勝者決勝戰
△第一回戰 鬼塚(打ちやり)鹽田
△準優勝戰 榎本(はたき込)田中 鬼塚(吊り出し)濱田
△三等決勝戰 田中(吊り出し)濱田
△優勝戰 鬼塚(吊り出し)榎本

驛員の不通

◇私は七月中旬撫順から西安に旅行するため、滿鐵撫順驛に發車時間や賃金を尋ねました處驛員のいふには、「奉吉線は途中雨のために線路の破損の箇所があつて不通である」との事に已むなく四、五日を經て同月二十二日再び問ひ合せたところ、未だ開通しないとの返答に接したが宇佐美總局長の二十二日には全線を開通させるとの聲明が新聞紙上に掲載されたゝめ、その旨聞きただすと、未だその通知に接して居ないから開通しないものと思ふとのことであつた。

◇仕方なく諦めたが念のため撫順城驛でもう一度確かめやうと思ひ馬車を雇つて驛へ行つてみると、西安までは不通のことなく從前通り動いてゐるといふので翌二十三日に撫順城驛から西安に行つたのであるが、苟くも驛の從業員が梅河口で乘り換へて行く西安行きには線路に故障なく、梅河口以北即ち吉林に近い方面に故障がある位の事をわきまへないなどは以ての外で旅行者に對し如何に迷惑をかけるかを考へて貰ひたいと思ひます。(一旅客)

投書歡迎 五十行以內

本社 編輯營業會議 社業發展に關して

本社支社支局販賣店の編輯、營業聯合會議は十九日午後一時三十分より本社三階講堂において開催、先づ本村營業局長開會の辭を述べ村田社長は挨拶を兼ねて近來吾社は社業の全般に亘つて眞に劃期的躍進を遂げつゝあり本社においてはこれに對處すると共に將來更に大なる發展を遂げるために諸般の重大施設改善を行ひつゝある、諸君においても本社の使命を諒得して從來にも增して奮勵努力されたしと訓示を述べ、次に細野主幹挨拶を兼ねて社業發展の事實および新聞一般の重要施設に就き詳細に說明一同の努力を求め、最後に米野編輯長が編輯上に關する希望を述べて長時間に亘る會議を終了、續いて營業關係事務につき打合せ今後の營業各個別に打合會議を開きそれぞれにつき詳細に討議決定して午後五時散會した、かくて一同は老松町の一方亭における村田社長の招宴に臨み充分歡をつくして同九時宴を終つた(寫眞は村田社長の挨拶)

西部軟式野球

滿鐵鐵道工場主催西部支局後援の西部軟式野球は十九日午前九時から開始、結果左の如し

蓮根クラブ13A—4大連機械
パミナクラブ10—0協心クラブ
技術クラブ3—2小崗子驛
沙河口研究所15—4FHクラブ
沙河口驛一五—四製鐵A
Y・M・G一一—七瓦斯會社
確友クラブ六A—五聖士クラブ
東京電氣六—二南沙河口

尚二十日の組合せは左の通りである

工場グラウンド
蓮根クラブ對Y・M・G
東臺クラブ對旋盤クラブ
春日小學校グラウンド
電交クラブ對滿風寮

東倶勝つ 8—6 對ハ大學試合

【東京十九日發國通】ハーバード大學對東京倶樂部野球戰は午後三時東京倶樂部先攻で開始八對六で東京倶樂部勝つ、得點左の通り

										計
東京倶樂部	0	0	0	0	0	2	2	2	2	8
ハーバード大學	0	0	0	1	0	1	1	2	1	6

中等野球準決勝 熊本快勝す 4A—0 對市岡中學校

【大阪特電十九日發】全國中等學校優勝野球大會準優勝戰市岡中學對熊本工業の一戰は吳港中學對秋田中學戰の後を承けて午後一時十一分より甲子園球場において森田(球審)長濱、橋本、牧野(壘審)四氏審判の下に市岡先攻で開始されたが熊本捨身の戰法功を奏して四A對零で熊本快勝した、閉戰三時十八分

バッテリー(市岡)南村—袴田(熊本)戸上—吉原

				計
市岡	000	000	000	0
熊本	100	010	02A	4A

横濱高商 滿倶 野球第一回戰
午後四時より滿倶球場で

市政擴充後の市長は官選
關東廳の主張理由

在滿政治機構改革に伴ふ關東州廳の設置は關東廳行政事務の必然的縮小を意味し、中央並に關東廳當局においては大連民政署所管事務の大連市役所移管につき內々調査研究を進めてゐるが、未だどの程度に移管するか具體案を得るに至らない、然し理論上は內地の都市同樣、民政署事務中、官有財產および國稅事務以外は大連市に移管し得べく大連市においては教育、道路、地方稅等を初めこれら總ての事務に關する限り擧げて移管して目的の移管を受くることを強調して自治制の實現を期すべく意氣込んでゐる、然るに中央及び關東廳においては市長は官選たるべしと堅く決意してゐるに對し、從來市會においては官選を自治逆行なりとして民選を主張し來つた經緯があるので、この點を如何に調和するか成行が注目されるが

官選論は 左の如く傾聽すべきものあり、結局、關東廳、市長市會の合議により官選制を採ることに落着するものと豫想される

一、日本內地の都市自治制は概ね行詰つて居り市長民選にも多くの弊害を伴ひ、市政運用上に惡影響を及ぼし易く民選につき再檢討を痛感される今日、若し大連市が民選市長制を採れば當局は安んじて民政署事務を移管するわけにゆかぬ

一、假に官吏市長制を採れば頻繁に更迭あり、民意壓迫の譏りも受け易いが官選市長は官吏に非ず、而も任期中は監督官廳の壓迫を受くることなく專心市政運用に當ることが出來る

一、官選市長と雖も市會を壓迫し自治精神に悖るとは考へられない、萬一左樣なことがあれば市會は市民の總意を代表する強靱なる議決機關なれば決議權を以て堂々市長と對抗すべく、かゝる事態に立ち到つた以上、市長は圓滑なる事務執行をなす能はず任期中と雖も退任の餘儀なきに至るであらう、要するに市長官選の市會壓迫は單なる杞憂に過ぎない

棉花緬羊兩協會活動

【東京十九日發國通】日滿棉花、緬羊兩協會では協會本來の機能發揮のため、將來の滿洲產業開發策に種々腐心してゐるが、棉花協會では之が第一檔梯として本年度においては既に百二十萬斤の棉種を滿洲に送附、棉花栽培の獎勵に主力を注ぎつゝあるが、更に來年度においては二十萬斤を送附して一萬町歩に之を栽培せしむる計畫であり、一方緬羊協會では緬羊五百頭及び種牛四十頭を購入し來る九月一日新潟より滿洲現地に送つて拓務省の第一、二、三次各自衞移民に教導飼育せしめ將來は移民一名につき一頭宛を割宛て極力增殖計畫に力を注ぐ筈である

河本大尉送別會

在滿約六ケ年、滿洲事變勃發と同時に大連兵站支部設置の命を受け旅順より同支部長兼旅順車站司令官として來連以來孜々として繁忙な創始の業務に當り今や在滿軍關係者並びに全市民よりその德を賞讃、欽慕せられるに至つた河本辰雄大尉は今般近衞師團兵器部附に榮轉近く赴任することになつたが、同氏の離連を惜む有志者は十八日ヤマトホテルに送別の宴を催し高柳、岩井兩將軍、高田商議會頭、森本前法院長、稻川大連驛長市內各署長始め約六十名が參會午後七時開會、デザート・コースに入つて主催者を代表し市長に代つて大連新聞社長賀性權威氏が送別の辭を述べ、次いで河本大尉の感謝の辭があり一時間半に亘る歡談の後盛會裡に宴を終つた、因に同氏は來る二十三日出帆の扶桑丸で離連の豫定である

本日應報を添ふ

蘇聯に待つは…… 饑と虐使のみ

王道滿洲國に寄せる深い思慕 歸國した北鐵從業員の書信

【チチハル】河一筋を境に國を接する帝制滿洲國と共産蘇聯邦は斯くも國情を異にするものか、本國に歸つた前ハイラル驛勤務の北鐵從業員ハニヤーリンと稱する男が最近チチハル某所勤務の友人に寄せた對岸の慘を物語る哀切な音信の一節

(前略)友よ、俺は馬鹿だつた、本國へ歸るのではなかつた、衣服家財道具の大半はチタに辿りつくと共に官憲に沒收され、退職金の一部はハイラルで支給されたが、殘額はトルグシン(外人相手の商店)宛に送付し、不必要品を無理矢理に購入させられた、加之最愛の妻はウエルツニウジレスクに、自分はチタより二百露里の山中に分離放逐され、林區伐採にこきつかはれてゐる、一日働いて與へられるものは僅か六百グラムの黒パンと若干のスープだけ、肉類などは全然支給してくれぬので大兵の俺も骨と皮になつてしまつた、あゝハイラル、あゝ滿洲の空がなつかしい(中略)目下チタ方面の軍備は實に物々しく、全勞働者に軍事教練を強制してゐる、國内の疲弊は言語に絶し市場に行つても支那の煮豆がある位のもので、偶々馬肉があつても一キロ十五圓乃至二十圓といふ滅法もない相場だ、食糧難の結果は死亡者の激増となつてあらはれ、住民は國外にのがれたいまゝに日蘇開戰の一日も早からむことを祈つてゐる、目下の蘇聯民衆にとつて救ひ神は戰爭なのだ、たとへ流彈に斃れるとも第二次五ケ年計畫と戰爭準備の犧牲となつて虐げらるゝよりはどれ位有難いことか、友よ、蘇聯の宣傳に迷はされることなく、王道の平和境で一生を樂しく過してくれ。(下略)

恐るべき陰謀暴露

惡運盡きた趙誠忠

【チチハル】蒲〇團司令部十四日發表＝過ぐる昭和七年の師走皇軍の急追に蘇炳文軍は脆くも敗れ算を亂して蘇聯領土に遁入せるに際し、同軍の一團長たりし趙誠忠は巧に日滿兩軍の追手をのがれ自ら頭目となつて敗殘兵を糾合し北鐵沿線を地盤に跳梁、遂に國際列車を碾子山附近において襲撃するの擧に出でたるため、わが遠藤討伐隊は本年一月一日午前六時、東雲をついて出動し、札蘭屯より小壬歳、問龍溝一帶にかけて激戰を交ゆること實に二時間餘、鹽田軍曹以下四名の戰死者と中島軍曹以下十二名の負傷者を出しつゝ敵匪二百餘名を殲滅したが匪首趙誠忠は惡運強く落ちのび、爾來その影をひそめて行方判明せざりし處、最近その根據を突止めるに至つたので龍江縣松本警務指導官は部下四名を率ゐ決死の覺悟を以て七月四日午後一時チチハルを出發、碾子山驛に下車し李三店警察署に捜査本部を置き探査の結果、景星に逃走しつゝあることが判明、直に騎馬にて追跡し難なく逮捕の上、凱歌を奏して列車にて護送チチハルに向ふ途中[illegible]驛發車後間もなく進行中の列車より飛降り逃走を企てたゝめ王警長は勇敢にも續いて飛降り拳銃を亂射しつゝ追跡する一方、松本指導官は[illegible]車輛護路軍の應援を得て遂に之を逮捕しフラルジよりモータボートにてチチハルに護送、爾來一ケ月に亘り嚴重訊問の結果、恐るべき國際列車襲擊事件をはじめその他の陰謀が悉く明るみへ曝け出されるに至つたものである

慘!輪禍のあと 十七日滿鐵本線二重事故を生じた第二八列車の機關車と負傷者を生じた客車の慘狀

自給自足へ 非常時對處

洋裁講習終る

【大石橋】時代の要求と非常時に對應せんとする婦人の自給自足的精神の發露に基く婦人、子供裁縫術領得要求熱は大石橋地方事務所の絶大なる後援の下に本年も第二回洋裁講習會の開設を見、去る五月十七日より講師として織田米子女史を迎へ倶樂部道場において講習中の處十七日迄に修了し十八日午後一時より三十四名修了生の爲め盛大にして意義深き修業式を擧行した

修業記念に創作された婦人服、子供服、學生服百點は廣き道場を狹き迄陳列せられ一般の展覽に供した夕刻迄觀覽者陸續滿員の盛況を呈したが何れも立派なる藝術品ならざる無く或は子供連れて或は主婦として繁忙の片手間に而も百餘度の暑氣と闘ひ汗と力と意氣の結晶作品で觀る者をして深き感銘を振起せしめた(寫眞は修了式記念)

大道理髪師の營業禁止さる

解禁の歎願容れられずば 救濟策樹立要求

【奉天】奉天理髪組合長楊量伍氏は大道理髪師の料金低廉で下級民に歡迎されてゐるため理髪營業の不振に陷りつゝあるにかんがみ警察廳に對し之が取締方を請願したが警察廳では之を容れ本年十月末限り路上營業を禁止することゝなつた、一方路上營業者は生活上の重大問題となし密に結束し運動を起すべく畫策中であるが結局警察廳にその窮狀を訴へ同時に楊量五が理髪業を獨占せんとする實情及びその他裏面の事情を陳述し依然路上營業を繼續せしむべく歎願し許可されない場合には多數失業理髪師の救濟法を設け衣食住の保證を請求せんとしてゐる模樣である

奉撫バス料金

【奉天】今回開通した奉撫新國道の總局自動車は既報の如く來る二十日から旅客、荷物とも取扱ふが料金は左の如し(百キロに付)

奉天小東邊門迄五十錢、東陵五十錢、舊站七十錢、高家灣九十錢、葛布街一圓十五錢、撫順迄一圓四十錢

優良兒童賞品授與

【大石橋】過般全滿に亘り各地方別赤ん坊審査會を催し健康と育兒思想の[illegible]したが大石橋に於ては當時優良兒と審定せられたる兒童に對し婦人並に父兄の多數集合する好機會に賞品を授與し其の實效を期すべく延引中の處本日洋裁講習會修業式の好機を捕へ式後左記優良兒童に平田地方事務所長代理よりそれぞれ賞品を授與されたり

最優良賞 宣武街二本多保明、東紅街六ノ二ノ一井上清彦

優良賞 紅旗街六ノ四ノ一菊田哲好、同一二ノ一松永一彦、宣武街二四福田文男、大正街一齋藤喜雄、紅旗街一ノ二ノ一岡野勇雄

新國道・戀の試乘

賣れツ妓の道ゆき

【撫順】「奉撫國道を戀で色どる」撫順から最初の戀の試乘を遂げた藝妓と色男の戀の逃避行事件―撫順東六條通り料亭右左滿抱への看板藝妓ともてはやされてゐた本籍長崎縣南高來郡小田村藝名文之助こと東原シズ子(一九)は十八日午前三時半頃料亭を秘かに脱出し豫て馴染を重ねてゐた情夫と午前四時頃未明の奉撫道路を驛前山にタクシーを馳つて逃避したのを午前七時頃になつて感知せる料亭では大騷ぎとなり警察署に捜査願を提出し各方面に取押へ方手配した

右文之助は昨年五月郷里長崎から向ふ五ケ年の契約一千五百圓の前借で右左滿に仕替へして來たもので同料亭では斷然賣つ妓として評判されてゐた程で突然なる今回の逃避行には驚いてゐる

尚兩名を乘せて奉天まで運轉した山口タクシー松間君の談に依ると二人は自動車賃十三圓の支拂に窮し女の衣類を入質して支拂つた由で奉撫國道の開通に伴ひ二十日の奉撫バス營業開始を前に新國道を走破した戀の逃避行は炭都撫順の一話題として巷間を賑がせてゐる

河北副段長着任

【營口】奉天警務局營口河北警務段の副段長として元旅順警察署部であつた門脇誠郎氏は十六日着任した

警備演習

【鞍山】鞍山守備隊〇〇中尉の率ゆる〇〇〇名は十八日午後六時から煙臺七里河間に亘り夜間演習を實施した

朝鮮向安東材 不振を極む

【安東】安東木材の朝鮮向輸出は本年四月以降關東廳、滿鐵の關稅助成金補給打切りに因つて不振を極め一月より七月までの七ケ月間の輸出數量五、二八三立方米、價格一五四、六八五圓に過ぎない、なほ八年度の朝鮮向輸出總量は一五七、五二〇立方米、四〇四、八三四圓である

于學忠部隊に 俸給減額未給

【錦州】于學忠の第五十一軍は平素三ケ月早くて一ケ月後にしか月給の支拂ひを受けてゐないのに今回さらにその十分の六に減額された、然るに蔣介石直系の軍隊は何れも毎月全額の支拂ひを受けてゐるので第五十一軍の將兵は早くも不滿の意を洩らし蔣介石に對する反感を昂めて何等かの機會あらば反蔣運動に出でんと畫策中である

奉天賽馬會

【奉天】秋季第一次奉天賽馬會は愈よ來る十八日から二十六日まで北陵競馬場において擧行されるが、第二次は引續き九月十三日から同二十四日迄催される豫定である

マラソン使節

【鐵嶺】東京新京間日滿マラソン使節たる日本大學生沼館、村上兩君は去る八日大連を出發目下北走しつゝあるが來る十六日亂石山に到着一泊し翌十七日朝出發鐵嶺を通過し開原に一泊の豫定であると

市民水泳大會

【旅順】市民水泳大會は既報の如く十八日午後一時から黄金臺海岸に於て擧行數千の人魚觀衆の下に開催せられ非常な盛況を呈した

通信網の整備

躍進滿洲の尖端を突進して めざましい增架

【奉天】鐵道の神經である通信機關は鐵路總局に於て鐵路の質的向上と共に最も力を注いで居る點で凡ゆる最新文明を驅使して國線に於ける通信網は今や急速度を以て完備へ突進しつゝある鐵路總局が國線を引繼いだ當時は電信線延長三萬七千七百キロだつたものが朝開線の八千キロと新設されたもの一萬八千七百キロを加へて昭和九年三月現在六萬四千五百キロに達した、昭和九年度には尚一萬四千四百キロを同十年度には一萬餘キロを增架する豫定であり、而も斯る狀態は玆數年間繼續さるゝものと見られて居る、距離直通電話の架設は奉天よりハルビン、克山、チチハル、圖們に既に完成して居り山海關へは錦縣交換所を經て通話可能となつて居る

之れに伴れて回線數の增加もめざましいものあり、近くは四萬八千圓を以て總局交換所の增築が着手され新築わづかにして增築を必要とする等その豫想外の膨脹振りを示して居る、一方總局自動車線の通信機關についても有線無線適地主義を以て進められ、端で文化の遲れた滿洲に一大通信網の確立が期されて居る

滿洲に於ける通信機關は驚くべき發達を見て居り世界最初と見らるゝ某通信機關の完成を見て居る等躍進滿洲の尖端を突進するものとしてそれ等のよりよき發展が期待されて居る

金州競馬 第四日目成績

▲第一競馬(在鄉甲乙混合)八百米一着馬燕騎手服部一分三六秒配當金一圓三十錢(五圓券は一圓券の五倍)
▲第二競馬(在鄉乙)八百米一着馬文政騎手山本二分一五秒二、配當金二圓
▲第三競馬(改良馬)八百米一着馬惑星騎手内村一分一四秒、配當金二圓二十錢
▲第四競馬(改良馬在鄉甲馬混合)一千米一着馬山陽騎手桑田一分三四秒三、配當金五圓
▲第五競馬(改良馬)八〇〇米一着馬平安騎手西一分八秒二、配當金二圓九十錢
▲第六甲競馬(在鄉乙馬)一千米一着馬日向騎手藤井一分二七秒二、配當金一圓三十錢
▲第六乙競馬(同上)一着馬霜月騎手青木一分三八秒四、配當金一圓六十錢
▲第七甲競馬(在鄉甲乙馬混合)一千二百米一着馬初音騎手桑田二分〇一、配當金一圓二十錢
▲第七乙競馬(同上)一着馬村雨騎手服部一分五一秒三、配當金十圓貸馬へ配當金五十錢
▲第八甲競馬(在鄉甲馬)八百米一着馬三光騎手市原一分十二秒配當金十圓貸馬へ配當金四十錢
▲第八乙競馬(同上)一着馬武勇騎手青木一分五秒三、配當金一圓四十錢
▲第九競馬(同)一千米一着馬武鳳騎手濱崎一分三四秒四、配當金一圓九十錢
▲第十競馬(在鄉乙)千二百米一着馬黎明騎手所二分一五秒一、配當金十圓
▲第十一競馬(在鄉甲乙混合)一千米一着馬智野騎手濱崎一分五六秒四、配當金四圓七十錢
以下四レース後報

西部大連

工場評判記

扇田健治君(計畫係主任)

君の特長を簡單に短いこの欄に掲げることの出來ない、最初からわかりきつたことかも知れないが、複雜化した氏の性格の表れだとも君に特長はないといはれる、一面いへよう、己を持しよく守つて人の意表に出る樣な何等の奇行もない、所謂君子人として工場で通つてゐる、君は奈良の產、背は細くし柔かくて育つて來たらしいが年齡と共に下腹がふくれて來て古い洋服が間に合はなくなるやら更に古い靴が間に合はなくなるのが君の唯一の苦痛であるらしい趣味としては謠曲、碁などがあるが何れも大した腕前ではない、家庭には一男一女がありやさしいパパではあるけれども時々譏つて暴君振りを發揮するのは君らしくない一面だと人の噂そのまゝ

一宮章君(客車職場主任)

社員會聯合會長であり市會議員であり更に沙河口神社氏子總代であり方々の名譽職で相當忙しい人だ、かういふ人にあり勝ちな一宮君は凡そ世話好きの部類に屬する、押出しの良い顏付、廣い額と大きな目、樂天的な君の表情はまづ必ず會つた人に好感を與へずにはおかない、女性の前で相當馬鹿騷ぎを演じても野球その他の運動でハラハラする程の彌次ぶりを發揮しても自然にほとばしる君の姿に反感を持つものは少いだらう柔道は初段の腕前だ、が元來の君の性格がたゝつて自ら相手と鬪ふことよりも同好の士のお世話をする方が多いらしい、口の惡い連中は君の初段をお世話初段と稱して實力を三級以下に見てゐるが本人はどう思つてゐるか夫人は[illegible]夫人會の重鎭である

感謝狀授與

防空演習の感謝狀が一般よりおくれて十八日沙河口工場に到着、早速十二時二十分から授與式を行つた、演習當時の工場員は沙河口分團より獨立特別分團を組織してめざましい活躍をしたものだが人の數も數、いかめしい感謝狀を重ねて計算するのはどうかと思ふが一束正に約四貫匁とあり、一同今更ながら驚いてゐた

恒例啓發會

工場では十七日恒例の第三回相互啓發會を午後一時から會議室にて開催、今回の被告は旋盤職場であつて小澤主任議長席において汗だくで各係からの攻撃質疑の速發にこ應答會議終了した時のスガスガしさは「アゝ俺は生れて初めてだ」とは小澤君の偽らない告白であつた

尊し勞苦!

愈々十月一日から御目見得する超特急は先頃十五日第一回の試運轉を行つて好成績を得たが更に工場では未だ機關車四臺、客車二十餘輛の製造で工場では毎日々々まるで目の廻る樣な忙しさだ、劃期的な超スピード車が一般にお目見得するまでの工場員の苦痛は一寸想像されない、夜勤につゞく夜勤で日滿從事員の心勞はその極に達し工場幹部でも氣の毒がつてゐる位である

會と催し

◇鐵道愛護村の定例會議は廿日午前十時から遼陽縣公署にて開催
◇龍谷大學々長花田博士の講演會は十九日午後一時から遼陽滿鐵社員俱樂部に於て社會係主催で開催、また同日午後七時からは西本願寺で
◇遼陽地方事務所社會係では二十日午後七時から滿鐵道場に於て坂東彥壽郎氏の演劇と講演會を催すと
◇鞍山鄉軍射擊會 二十五、七、八、九日午後四時より守備隊練兵場にて狹窄射擊會、九月一、二日射擊場にて實彈射擊會開催
◇鞍山守備隊第二期檢閲 三十、三十一兩日大石橋〇隊長の守備勤務檢閲執行
◇憲兵司令官鞍山初度巡視 岩佐少將は九月一日頃鞍山分遣隊へ

各地人事

▲久保彌吉氏(奉天專賣支局長)十八日午前九時三十五分旅順發列車で家族同伴赴任
▲森本豐治郎氏(土告部判官)は十八日關東廳を訪問轉任の挨拶をなした

經濟セクション

北鐵一面坡に篤志な忽布栽培
濱口農場の苦心經營

大正十一年以來北滿で忽布と野菜の栽培に從事し、やうやく完成して十餘年後の今日多年の努力がむくいられた篤志家がある、北鐵東部一面坡に農場を經營する濱口吉三郎氏で、氏は大正七年シベリア出兵當時同地に渡り偶然の機會に浦鹽植物園長コマール氏から忽布栽培の有望なることを說ききかされ、ボシエットに於て忽布栽培に從事したが海濕が忽布栽培に有害であることを知つた氏は斷然これを放棄して大正十一年北滿に入り興安嶺中に小農場を設けたり、之亦地味不良にて失敗に終り、大正十三年北鐵東部線の一面坡河北に十町歩の濱口農場を設け、僅かな滿鐵の補助を受けて忽布及び野菜栽培の研究に從事し、北滿における麥酒會社に製品を供給して生計を立てゝゐたが、今度北滿忽布麥酒會社が設立されるに及んで同社に合併し、農場を二千町歩に擴張し、來春からは一般農家に委託栽培して製品を滿洲及日本內地に供給することゝなつた、之が實施の曉には現に日本に輸入される外國產忽布年約百五六十萬封度、價額約七百萬圓を完全に驅逐し、北滿特產として確固たる地盤を獲得しやう氏が歐洲品に劣らぬ優良品を作り出すまでの十餘年間の努力は淚ぐましいものがある、先づ氏の體驗談に聞かう

×　×

忽布の栽培は北緯四十五度から五十度の間とされてゐるが、それも海濕の影響を受ける處は適しない大陸的氣候で風や雨の少ない山間の平地に限られてゐるので世界の產地としてもチエッコ、ドイツの一部、アイルランド、北米の一部とされてゐる、日本では北海道を始め山形、山梨、長野の一部地方で多少產するが產額は極めて少く國內の需要は殆ど全部外國品に仰いでゐる、然るに北滿殊に北鐵東部線方面はこれらのすべての條件を備へてゐるので極めて有望であるが忽布栽培に關する參考書が少ないのとチエックの如き最優良種を產する國は苗木の國外輸出を禁じてゐたので氏は滿鐵熊岳城農場及び北海道その他から十三種の苗木を取り寄せて獨創的研究を重ねた結果、北滿に最も適した種類を選び更に之を早手中手晚手の三種に分かち栽培し、北滿特有な優良種を作り上げ、その製品は英米品よりはるかに優りチエッコ品にも劣らぬものがある

×　×

第二の難關は害蟲驅除法であるが八月の發芽期におけるホップハムシの被害は甚大であつて、氏はこれが驅除の爲め外國製の驅除劑を用ひたが却て新芽を枯死させる危險があるので研究に研究を重ねた結果獨特の配合劑を調製し、本年の試驗の結果完全に驅除し得る自信を得るといつてゐる、忽布の乾燥については各國とも火氣或は電氣乾燥法を用ひてゐるが百度乃至百二十度の高熱のために組織を破壞し品質を損ふので濱口農場では理化學研究所の完成した獨特の常溫空氣乾燥法を用ひることとしてゐる

×　×

かくして北滿に於ける忽布栽培事業は氏の努力に依つて遂に完成し今後忽布麥酒會社の一事業として北滿農家に委託栽培することとなつたが、その實施方法としては栽培組合を作り會社から指導員を出し農家の採集した生花を會社が買取ることとなるが指導宜しきを得れば一段歩當り農家の純益は約四十圓と見積られ最も有望な副業と見做されてゐる、忽布の需要は獨り麥酒配合劑として許りでなく、皮膚病、神經痛患者に用ひ鎭靜劑健胃劑にも用ひ又醱酵素としてパン製造に無くてならぬ原料であるから需要の範圍は極めて廣い

×　×

尙濱口農場で完成した野菜栽培法に關して當の濱口氏は左の如く語つてゐる、にんにくの栽培について滿人が植付の時期を非常にやかましくいふのを試驗した結果十日も遲れて植付けたものは三分一も收穫がないので知り之にヒントを得て日本產の大根とかぶらを每年五日目每に播種して見た、これを六年間續けて見たところ六月二十日から七月十日までの間に播種したものは日本內地と全く同樣のものが出來るが、その前後のものは成長しなかつたりトウが立つたりして食へないのを知つた、それで色々の野菜について試驗した結果どんな種類でも出來るが播種すべき時期が數日の間であることが判つた、かうして出來た野菜を空氣乾燥器で處理すること必要に應じて水にひたせば色も味も生物と少しも變らぬ、最近日本移民が續々渡滿するが大豆や高粱なら在來の滿人の方法を踏襲すればよいが日本內地の野菜を移植し實り出さうとすれば播種時期と貯藏法の研究を充分すべきだと思ふと(ハルビン)

農民の疲弊を如實に反映
滿洲國六月中貿易

財政部發表＝滿洲國康德元年度六月中の輸出入貿易額は輸出三七、〇六五、三一四圓、輸入四六、六一六、〇三一圓で差引七、三八三、九三〇圓の入超である、更に前年同期に比すれば輸出に於て一、三一三、六七九圓增、輸入に於て一四、七五六、二八四圓の激增を示し、輸出入國別では依然日本、朝鮮、支那、ドイツ、蘇聯の順序でドイツは輸出五、一〇二、七七九圓、前年同期三、八七八、三一一圓で一、二二四、四六八圓の增加輸入に於ても一、三三二、六四七圓で、前年に比し約六十萬圓增で輸出入共に激增せることが眼に付く、品目別に見た主なる輸出入增減は左の如くである(單位國幣千圓)

品名	本年五月	前年同期
輸出增加		
粟	一、七九一	一、一四五
豆油	一、四〇四	七一五
落花生	一、五八二	八八三
高粱	七三五	五四三
銑鐵	一、〇三七	七三九
輸出減少		
皮革	五九	一三八
毛皮	一四七	三一六
石炭	二、八二三	三、六一四
柞蠶糸	七五六	一、〇四〇
輸入增加		
其他綿布	一、〇〇〇	…
鐵及鋼	六、四七七	二、三八八
機械及工具	二、四六〇	…

撫順のセール煉瓦
工業界に革命的貢獻

中國、交通兩銀行
在滿營業策を講究

更生の鞍山
素晴しい伸び方
新開地へ發展する市街

資金難の
新京商工金融機關

新京七月末
建築材料市價

週間經濟
十二日(日曜)―十八日

スポーツ

〝全臺灣鐵道軍〟對〝滿鐵〟庭球交驩試合豫報【下】

鹿野芳夫

次に實際技術上の問題にうつるかつての記錄に於て、既に勝負に於て一歩を彼に讓つたが技術上及戰法に於て果して彼に讓るものであらうか、若し然りさすれば何うい云ふ點に於て劣るか、亦さういふ點に於て勝つてゐるか。兩軍とも同じコンクリートコートの上に育ち、其の素地を同じくするが、打法においては甚だしく相違する。從つてゲームの戰法にも相違を來す事は言を俟たない。槪括的に臺灣の後衞はスピードボールに長じ滿洲の後衞はロビングに長じ臺灣の前衞がヴオーレーに秀でたるに對し滿洲の前衞はスマッシングに秀でゝゐる。こう云ふ觀點からゲームの細部にわたつて批判されるが正しいと思ふ。卽ち臺灣軍の打法は總體的にトップスピンであり殆どロビングを用ひなく、後衞はコーナー及サイドに添うて深く入るスピードボールを唯一の武器として戰ふ。從つて前衞の行動も制約されて殆どネットプレーに終始されネットプレーの硏究が充分なされてゐる爲、ヴオレーの巧なるは一驚に値する。ゲームは常にスピードボールを以て運ばれる爲、後衞はセンターカット・サイド及コーナ深く打ち込み、ひた押しに押しに押し切つた所前衞が見事なネットプレーできめる。由來スピードボールの後衞に取つてネットプレーに出る前衞程やりにくい、うるさいものはない。そこで必然の勢ひさして前衞を先づ牽制しなければならない。臺灣軍がアタック前衞に長じ、從つてレシーブに强みがあるのも當然の歸結であるさいへよう。臺灣軍がトップスにおいて必ずレシーブを取るといふのもかうした所に理由があると思ふ。これに對し滿洲軍は泉な除く外後衞の殆どはトップから少し落ちた所をたたき、前衞はヴオレーよりも寧ろスマッシングに長じてゐる。近來滿洲庭球界全般に亘りスピードボールを打つ傾向があるが、腰を後にのこし上體を彎曲させたまゝ落ち目の球を打つものが多く隨分無理なフオームで感心出來ないものがあるが、之も全日本の水準に於るテニスがスピードを有する點に刺戟された結果さいふ事が出來よう。實際問題さして現在の樣にボールが小さく輕ければ必然速球にならざるを得ないのである。其の爲にピングが少くゲームに變化な缺き軟球の興味を削減するさ云ふのでボールを重くしようさいふ問題が中央から提起されてゐる位だが、然し恐らく今後少し位ボールが重くなつてもスピードが落ちるさいふ樣な事は豫想出來ない。

×　×

餘論はおいて、スピードボールに轉向せんさもがいてゐる滿洲のテニスがスピードの表面的なもののみ見て其の本源的なものを忘れてゐる事は事實だ。スピードがあればある程巧妙な重心の轉化及微妙なボデイーワークを强請せられる。次にスピードで勝つのではなく打込む場所の良さ及び機會を先取するさいふゲーム上の技巧を考慮に入れてゐない。近來少しづゝ諒解はして來たがまだ荒い。恐らくスピードボール一點張で應酬すれば「張、辛組」の爲に滿洲軍は全敗を喫するのではないか、ヴオレーに弱い滿洲の前衞がアタックされて益々敗因を强くしはしないか。結局滿洲軍の勝味はスピードにのみ出でないで上り鼻を叩き込んで來る臺灣軍のスピードボールを受けこたへてロップを以て前衞をオヴアし敵の陣形を攪亂して機會を先取する事さ、前衞がよくアタックに堪へて寧ろそれを得點の機さするにあるさ思ふ。

此の戰法でおして行く事が出來れば或は「張、辛組」その他臺灣の雄を斃す事はそう六ケ敷い事ではないさ思ふ。何れにしても滿洲のテニスは此の機會に於いてスピードボール及びそのゲームに對する充分な硏究をなされるこさを希望する。

今回の試合に於いて滿洲軍に於いて最も期待せられる組は大連で「工藤、楠」「川久保、內倉」「元吉、吉田」「泉、因藤」沿線で撫順の「森本、安部」「矢野、穴戶」奉天の「石川、小山」新京の「大串、原口」組である。最後に兩軍のメムバーを紹介する（滿鐵は大連のみ）

▲臺灣鐵道軍

部長　松浦信次（臺北）
監督　靑木直貞（同）
選手
張金爐　辛瑞慶（臺北主將）
西尾道雄　宇治田淸次（臺北副將）
耳井政男　岡（臺北三將）
淺野三五郎　杉原孝一（臺北）
原忠吾　尼子鐵男（花蓮港主將）（臺北）
別府篤夫　近藤實（嘉義主將）
津田驍　發地仲次郎（高雄主將）
竹內繁　村田弘士（臺中副將）
役道夫　德井信雄（臺北）

▲大連滿鐵

川久保幸次　內倉勝（埠頭）（鐵道部）
工藤仲二　楠正之助（商事部）（經理部）
元吉三善　吉田喜久雄（埠頭）（同）
森川泰吉　津島太郎（鐵道部）（同）
兩部明正　岡見勇（經、調）（埠頭）
坂卷定吉　宮澤信男（商事部）（建設局）
伊藤勝吉　立川良（埠頭）（地方部）
佐藤一夫　丸山正次（鐵道部）（經、調）

全大連の場合は市中の泉、因藤組靑木、野中組を加へて編成する。

特別高段棋戰【其六】

平手
先　七段　宮松關三郎
　　七段　小泉兼吉

【圖は七六桂迄の局面】

一二三四五六七八九

小泉氏持駒　飛角銀歩歩
宮松氏持駒　なし

△五七銀打　▲六六銀
△八一飛　▲七一金打
△六六銀　▲同　馬
△九一飛成　▲八八桂成
△五八玉　▲三九馬
△六二歩　▲同　金右
△七二桂成　▲七八歩成
累計七十八手

土居八段講評

小泉君の六六銀は攻めを誤つた、別段急ぐ必要はないのだから、此の次に卽詰みの目的を以て穩かに八八桂成さ指して金を取つて置けば成算歷々である、宮松君は敵に金を持たれて居ては自玉の防戰不可能だから、局面の模樣によつては飛車を犧牲にする心算の下に、八一飛と打つて敵に大事な金を使はせたのは勝敗に拘はらず面白い策である、小泉君の七一飛打は輕卒な誤算、六八金、同銀、同桂成、同飛、同馬、同玉、二八飛打にて卽詰みである、倘六六同馬は不可、八一金と指して飛車を取つて置く方が安全。

萩原七段解說

宮松氏の五七銀打は唯一の防手で、此の手で五九玉と早逃げしては四九金、六九玉、八八桂成で防ぎなしである、小泉氏の六六銀は、八八桂成で同飛なら七八金、五九玉、四九金で詰である、次に七一金も六八金、同銀、同桂成、同飛、同馬、二八飛、五八金、六七銀打、七九玉、七八歩成、同金、同銀成、同玉、五八飛成で詰である、又次に六六銀、同馬も自玉が安全と見て八八桂成を見越して樂觀氣分で指したのであるが、八一金と敵飛を取る方が次に六六馬、八八桂成又は六八飛打の先を殘して絕對優勢である、此の所小泉氏優勢と見て非常にゆるんでゐる嫌ひがある、宮松氏の五八玉は、敵の六七銀を避けたもので、小泉氏の三九馬は挾擊の準備である。

日本棋院　春季大手合戰譜（十二局）

先　三段　蒲原繁治
　　初段　松林茂比古

制限時間各七時間（但し一分以內は切捨）

いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ

一二三四五六七八九十土士圭古去夫七大丸

—【3】—

●四一れノ十六　○四二よノ十八　●四三れノ八　○四四れノ七
●四五れノ九(1分)　○四六よノ七(23分)　●四七たノ十　○四八そノ十(1分)
●四九たノ九(4分)　○五〇かノ七(5分)　●五一そノ九(10分)　○五二かノ三
●五三かノ二(3分)　○五四わノ二　●五五かノ四　○五六わノ三
●五七はノ十七(3分)　○五八はノ十六(9分)　●五九にノ十七　○六〇ほノ十七

所要時間累計（白　二時八分　黑　一時五分）

對局者の言葉

（白）四十二は此場合（か十八）のコスミと大した差はないらしい
（黑）四十三は二十一の時から狙ひなのですが、時機尙早の感がないでもありません、單に（ち三）又は（ち四）とツメ、十七、十八の白に迫りながら、四十三の打込みを含む方が沈着の態度だつた—さにかく此の（ち三）又は（ち四）がとても好點なのです
（黑）四十七はかう押へたい所ですが、白四十八と下るうまい手があつては四十八と下からハネて辛抱するものでしたか
（黑）四十九は氣の利かぬ手ではありますが—單に五十一に押へるさ白四十九と切られ黑（れ十一）白（よ十）黑（た十一）白（た八）とビシビシ極め付けられて大變です
（白）五十のノビで大體上邊の二子と連絡して居る形ですから、黑五十一で二子を取られてもそんなに惡い積りでもありませんが—但し此のノビで（そ八）とワタる手はありますが、何となく手薄いので打切れないのでせう
（黑）五十一と二子を取切るのは大きいやうに思ひましたが—
（白）五十四で（よ四）と當てる手がありさうですが、黑五十六と當て返され白五十五とツイだ時黑（た二）とカケツがれて白（た五）と切つても居られません

戰の跡

◇黑四十三の打込みは二十一の時からの狙ひだけにノータイムで打つて居るが、五十一まで黑後手になつて居る所に滿足出來ない、對局者のことばの通り單に（ち三）とツメる沈着を採りたい◇白四十六で四十七に立つのは黑四十八白（そ十一）黑（よ八）と打たれて窮する◇白四十八の下りには無駄はない「二目にして捨てよ」に適つて居る◇白五十一に次いで黑（か六）白（わ六）黑（わ七）と出切るのは露骨過ぎて成功しさうもない◇黑五十四に繼つて居る方が大きくはあるまいか

ラヂオ　二十日

大連（JQAK 六五〇KC）

午前の部
六・〇〇 ラヂオ體操
六・三〇 ラヂオ體操
八・〇五（東京より臨時）經濟市況
一〇・四〇（東京より臨時）經濟市況
一一・〇〇 經濟市況、公設市場値段

午後の部
〇・〇〇（東京より臨時）經濟市況、ニユース
〇・四〇（大阪より）野球試合實況＝甲子園野球場より中繼＝第二十回全國中等學校優勝野球大會（第八日）決勝戰
三・三〇 經濟市況、ニユース
四・〇〇 野球試合實況＝中央公園內滿倶球場より中繼＝橫濱高商對滿倶
六・〇〇 ニユース、職業紹介事項
六・二〇（東京より）謠曲「阿漕」シテ喜多六平太、ワキ福岡周齋地友枝喜久夫、地喜多實、地金子五郎
七・一五（東京より）浪花節週間（第一日）「唐人お吉」壽々木米若
八・〇〇（大阪より）靑年特別講座「東さ西今さ昔」法學博士下村宏
八・三〇（東京より）時報
八・三一 ニユース、氣象通報
八・三〇 長唄「吉原雀」唄大槻石龍、同菊司、同富丸、三味線光司、富若、上調子政二、補導杵屋六代音
八・四五（東京より）ニユース、氣象通報、番組豫告
九・〇〇（新京より）演藝（滿語）

新京（MTBY 五七〇KC）

午前の部
六・〇〇（東京より）ラヂオ體操
六・三〇 ラヂオ體操（滿語）
六・四〇 滿語講座—講師高宮盛逸
七・〇〇 日語講座—同植松金枝
八・〇五（東京より）經濟市況
一〇・四〇（東京より）經濟市況
一〇・五九 唱盤（滿語）

午後の部
〇・〇五（奉天より）經濟市況
〇・二〇（大阪より）野球試合實況（大連同）
二・〇〇 日用品値段（滿語）
五・〇〇（ハルビンより）子供の時間
五・三〇 時事解說（滿語）
五・五五 氣象通報、番組豫告（滿語）
六・〇〇（東京より）ニユース
七・一五（東京より）浪花節週間（第一日）「唐人お吉」壽々木米若
八・〇〇（大阪より）靑年特別講座「東さ西今さ昔」法學博士下村宏
八・三〇（東京より）時報、ニユース
八・四五 ニユース、氣象通報、番組豫告
九・〇〇 演藝（滿語）連香斑玉靈
ニユース（滿語）

奉天（MTBY 八九〇KC）

午前の部
六・〇〇（東京より）ラヂオ體操
六・二〇（新京より）ラヂオ體操（滿語）
六・四〇（新京より）滿語講座、高宮盛逸
七・〇〇（新京より）日語講座、植松金枝
八・〇五（東京より）經濟市況
九・〇〇 料理献立
一〇・四〇（東京より）經濟市況
一一・四〇（東京より）ニユース
一一・五九 時報

午後の部
〇・〇五 經濟市況（日滿語）
〇・四〇 野球試合實況（大連同）
三・三〇 經濟市況（日滿語）
四・〇〇 公示事項、ニユース、（日滿語）
四・五〇（新京より）ニユース（英語）
五・〇〇（ハルビンより）子供の時間
五・三〇（新京より）講演（滿語）
五・五五 氣象豫報、番組豫告（滿語）
六・〇〇（東京より）全國ニユース
六・三〇（東京より）謠曲「阿漕」（大連同）
七・一五（東京より）浪花節週間（第一日）「唐人お吉」壽々木米若
八・〇〇（大阪より）靑年特別講座「東さ西、今さ昔」法學博士下村宏
八・三〇（東京より）時報、全國ニユース

京城（JODK 九〇〇KC）

午前の部
六・〇〇 ラヂオ體操大會實況＝京城府廳前より中繼＝但雨天の爲中止の場合は東京中繼さす
六・三〇（東京より）夏期英語講座（二の四）高垣松雄
七・〇〇（東京より）ラヂオ體操
一〇・〇〇 氣象通報
一一・〇五 料理献立、日用品値段、鮮魚卸相場＝京城府廳水産市場發表

午後の部
〇・〇五 音曲萬歲—女猫八、富士司
一・二〇（大阪より）野球試合實況（第二放送に依る）第二十回全國中等學校優勝野球大會＝甲子園球場より中繼＝
二・〇〇 趣味講座日本名媛傳の中「菅原孝標女」（一）田中初夫
六・〇〇（東京より）お話「夏の空」（テキスト二八ページ）野尻抱影
六・二〇（東京より）コドモの新聞—村岡花子
六・二五（東京より）講演「歐米における日本美術工藝」和田三造
七・三〇（東京より）謠曲「阿漕」シテ（喜多六平太）ワキ（福岡周齋）地（友枝喜久夫、喜多實、金子五郎）
八・一五（東京より）浪花節週間（第一日）「唐人お吉」壽々木米若
六・〇〇（大阪より）靑年特別講座「東さ西今さ昔」法學博士下村宏

とても早くなる 日滿間の郵便物
北鮮廻りの連絡近く實現
二日乃至四日短縮

【京城十九日發國通】日滿郵便聯絡については從來大連經由と安奉線に依る安東經由二線のみであつたゝめ關東方面並に北滿方面との聯絡に非常に不便を感じてゐたが

京圖線の全通に依り北鮮廻りの交通路が拓かれたので、朝鮮遞信局では豫て滿洲國と北線經由遞送線の開設に關し協議を進めてゐたが愈々兩者の意見一致し近く朝鮮側

南陽滿洲側圖們の兩國際郵便局において日滿郵便物の直接交換事務を開始する事になつた、之によつて北滿方面への郵便聯絡は二日乃至四日短縮する譯である

名古屋にも―― 今秋から着陸
航空新ダイヤきまる

【東京十九日發國通】豫ての懸案であつた名古屋飛行場問題も同市南端築港内埋立場の水陸兩用假飛行場が此程竣成して一應片附き愈々來る十月十一日から旅客、郵便兩航路（一日各一往復）が名古屋に着陸する事に決定したので日本航空輸送會社では連日新ダイヤの編成に苦心中であつたが東京、福岡、大連間の三區に分けて漸く完成、十六日遞信省航空局、朝鮮總督府、關東廳に對して夫々許可を申請した、十月一日の冬期新シーズンから實施される新ダイヤは左の如し

東京、福岡間

△旅客機（下り）

東京發　午前九時半
名古屋着　同十一時十分
名古屋發　同十一時二十分
大阪着　午後零時二十分
同發　同一時
福岡着　同四時十分
（大阪、福岡間は水上機日曜日は缺航）

（上り）
福岡發　午前九時
大阪着　正午
（福岡、大阪間は水上機）
大阪發　午後一時
名古屋着　同一時五十分
同發　同二時
東京着　同三時五十分
（火曜日は缺航）

△郵便機（下り）
東京發　午後二時十分
名古屋着　午後四時
同發　同四時十分
大阪着　同五時
同發　午前五時半
福岡着　午前八時二十分
（東京―大阪間は日曜、大阪―福岡間は月曜に夫々缺航、又鮮滿行郵便物は福岡發午前八時四十分の旅客機にリレーする）

（上り）
福岡發　午後一時
大阪着　同三時四十分
（以上暫定的但し日曜日は缺航）
大阪發　午後六時
東京着　同八時二十分
（當分名古屋に着陸せず）

福岡、大連間

△旅客機（下り）
福岡發　午前八時四十分
蔚山着　同十時三十分
同發　同　四十分
京城着　午後零時四十分
同發　同二時
平壤着　同　五十分
同發　同二時十分
新義州着　午後三時十分
同發　同三時二十分
大連着　同五時
（月曜日は缺航）

（上り）
大連發　午前七時四十分
新義州着　同九時二十分
同發　同　四十分
平壤着　同十時四十分
同發　同　五十分
京城着　同十一時五十分
同發　正午
蔚山着　午後一時五十分
同發　同二時
福岡着　同三時五十分
（月曜日は缺航）

大連商業選手
神戸を出發す

【大阪特電十九日發】晴れの中等野球大會に出場して敦賀商業軍と力戰惜敗の悲運に泣いたとは云へよく滿洲代表の意氣を示した大連商業軍、北島主將ら十四名は十九日神戸解纜のはるびん丸で歸滿の途についた、全員元氣

尚ほ進藤監督は歸省のため一行より遲れることになつてゐる

下士の財布
瞬間に盗む

十八日午後三時頃沙河口滿鐵工場内より〇〇〇〇隊の某下士が門鑑の代りに名刺を出して門衞に帶出物の證明をしてゐる間に六十餘圓の公金と私金とを入れた財布がほんの僅かな時間にすり取られたので、同下士は早速沙河口警察署に届け出た、安部刑事部長は届け出に依り現場近く空罐を運搬中の滿人古物商で巴町六七番地居住の杜高（二二）を怪しとにらみ十九日午前杜及び使用人三名を捕へて取り調べたところ果して杜高の仕業とわかつた、皇軍の所持品を奪ふとは何んと不屆きな奴と目下餘罪を取調べ中

居直つて强奪
六尺男の滿人靴直し

市内若松町七十五番地河野治兵衞氏方に十八日午後三時頃、六尺豐の藍色長衣を着た滿人靴直しが訪れ安く修繕すると稱して家人が入口を開けると主人の不在を見すまして俄に强くなり留守居の家人を脅迫して金五圓を强奪逃走した、訴へにより大連署では直に手配したが最近不良行商人が跋扈し家内手薄と見ると脅迫がましい態度に出る横樣が多く各署では取締りに努めて居る

米國二大野球
本壘打競爭

【東京特電十九日發】ニューヨーク來電、米國二大野球リーグ戰における本壘打競爭はゲーリッグとフォックスが抜きつ抜かれつ競り合ひを演じてゐるが一日までにゲーリッグ三六本でフォックスを一本リード十七日の成績はフォックス三八、ゲーリッグ三七で逆に抜き返した、三位はオットの三二、四位ジョンソン及びコリンスの二八

水禍の安東地方
死傷者は六百
浸水の家屋一萬二千二百におよぶ
被害一二百萬圓突破か

【安東特電十九日發】安東及び附近の損害、浸水家屋一萬二百、倒壞流失家屋二百、流失筏百五十臺（六十萬圓）船六百艘（五十萬圓）橋梁破壞五、老古溝の線路損害、水源池の被害は二百萬圓を突破する見込、安東滿洲街の浸水家屋は全市の八割八千五百戸に達し、豫想され得る死傷者六百、十九日午前中に發見收容した死體三十一、船舶、筏、穀物の損害五百萬圓と概算される

地委、區長會議

安東地方委員、區長聯合會議は十九日午後七時から開會、島地方事務所

四列車分の乘客を滿載
第五列車出發

長以下關係者出席し水害に關する技術的說明をなし善後策を協議した

し待機中の第五列車は第一、第三十九日の第五の四列車分の乘客を滿載して午後三時三十七分安東を發車した、これと行違ひに南行第二列車は四時五十分到着した、以後定時通車する

汚物大激增す

汚物處置場との交通杜絕し加ふるに汚物は平日の三倍に激增してゐるので衞生上非常に憂慮されて居る

安東市内は完全に排水
泥を洗ふ水もない

【安東特電十九日發】老古溝附近線路回復し、十八日夜安東に引返

安東市内の浸水は十八日午後三時を最高潮として漸次減退し十九日午前四時完全に排水したが浸水家屋は泥が一杯たまりこれを洗ふ水もなく慘憺たる光景を呈して居る

電話は朝鮮方面は十八日午後七時安東、奉天間は同十時四十分開通

電信は十九日午前四時全通した

防穀令を發布

安東縣公署では穀物の縣外移出、日用品の價格吊上、買占めを防止するため十九日午前十一時防穀令を布き縣下一般に嚴達した

安奉線漸く開通

【奉天特電十九日發】水禍の災害による安奉線の破壞箇所は安東より修理班多數が現場に出かけ全力を擧げ復舊作業に努めて居るが線路破壞橋梁の流失等被害甚大なため復舊工事も容易に捗らず十九日正午開通の豫定が遲れ午後四時五分漸く開通した、奉天より出發する乘客は少數であるが朝鮮より來滿する乘客は全部安東に立往生し

飲料水配給開始
第一水源池の送水開始は
二晝夜乃至四晝夜の後

【安東特電十九日發】滿鐵地方部工事課から急派した本庄、板橋二技術員は十九日午前八時旅客機で來安現地技術員と共に第一水源池を詳細調査した結果送水開始迄二三晝夜乃至四晝夜を要するものとの見込みに一致し目下築堤及びパイプ据付けに死力を盡して居る、平壤からの應援タンク車一輛十九日十二時三十分到着、新義州の上水運搬を開始し新義州一安東二の撒水車で配給しつゝあり、十九日夜には奉天から一輛二十日に四平街から二輛のタンク車當地着の豫定、市内の井戸で飲料にたへるものは全部利用され附屬地内に十一ケ所の飲料水配給所を設け十九日夕刻から配給開始した

之がため安東驛は大混雜を呈して居る、十八日午後十一時着の第四列車及び十九日午前七時發の第二列車は何れも五龍背に停車して開通を待ち第二列車は安東に向つて出發第四列車も續いて發車した、又十八日朝來停車して居た奉天行第五列車も一晝夜半にして漸く發車し十九日午後十時五十分着のひかりも多少遲れて來天に到着の筈で十九日午前七時奉天發の第二列車は豫定より四時間遲れたため安東より午後一時特發し第二列車はそのまゝ釜山に直行した、安東より來奉する乘客は何れも滿員で定時の列車のみでは運びきれないので二十日朝奉天行き臨時列車を發車し之を緩和する事となつた

旱魃で農民暴動
江西省の農作物全滅

【上海特電十八日發】江西省は今日まで既に二十五、六日間降雨なく全省四分の三は旱魃で農作物は全滅し米價は二倍に奔騰、爲に省政府は救濟のため上海より米糧を移入することゝなつたがこれがため農村の窮狀は言語に絕し農民は漸次惡化、四川、安徽では既に暴動發生した、共產軍がこれに乘じ合流することにもなれば現在の共產軍より數倍の勢力を有することゝなり目下軍政兩機關で愼重對策を考慮中である

タクシー側の再考を求む
値下と關東廳

大連大型タクシー値下げ問題について十八日午前十一時藤江自動車組合長、馬越大タク專務、大タク友愛會代表等は關東廳保安課を訪れ大和田保安課長以下と會見し種々陳情するところあつたが結局大型タクシーの歸り車のみの値下げは歸り車の意味に於て甚だ明確を缺き不徹底の憾あり、即ち單なる値下げなるが故に直ちに決定すべきものでないとの意向からタクシー側の再考を求めたので、一同は明二十日總會を開きその上で更に運動を行ふことゝし同三時過ぎ退廳した

建築中の家屋崩壞
七名下敷となる

【鞍山特電十八日發】十八日午後六時、鞍山富士小學校正門前に建築中の煉瓦造り總二階建百餘坪の家屋の一部が一大音響と共に俄然土臺より崩壞し、地上六間の屋根上にて煉瓦積作業中の請負師市内北四條通り二〇山田富三郎方現場員高澤國治（二三）ほか滿人苦力六名はあわやと思ふ間に崩壞する煉瓦壁と共に折重つて墜落下敷となつた、急報により鞍山醫院にて應急手當を施したがいづれも重態である

なほ右家屋は前記山田氏が市内連鎖街木澤淺吉氏より一萬六千圓にて請負工事中のもので崩壞原因は設計の粗漏と原料粗惡のためと見られてゐる

臺山屯に精神病院
近く建築さる

大連における精神病者は主として聖愛醫院に入院し來つたが常に滿員にて入院謝絕の餘儀なき狀態にあるため同醫院においては分院新築計畫を立て既に關東廳並に滿鐵より各二萬圓、恩賜基金中より一萬圓の助成を受くることに内定、大連市役所に對しても金五千圓の補助方を依賴して來た、右分院はこれら補助金に建築資金一萬圓その他を合せて近く臺山屯の西山會苗圃の中に建築されるが本館二百

二階が墜落
奉天目拔通りの騷ぎ

【奉天特電十九日發】十九日午後四時五十分頃内部工事中の浪速通十九番地東拓所有煉瓦造二階建の建物が轟然たる音響と共に崩壞天井が墜落し二階は押し潰されてしまつたが、折柄二階にあつて工事中の苦力李某（三〇）他一名は振り落されて頭部に擦過傷を受けた外他に被害はなかつた

此の建物は元奧田氏の所有でそれより鴻業公司の所有に移り熊野商會が權利を有し一時信託會社が移轉せんとして居たが移轉出來なかつたため其の後滿蒙洋行が借受ける事となつて内部の改築中に此の慘事を見たもので原因は階下を大ウヰンドとするため改造中重さに堪へかねて潰れたもので奉天目拔の場所とて一時は大騷ぎを演じた損害は約一萬圓であると

小室博士來連

長崎醫科大學博士號賣買事件の結果部下の不始末の責を一身に負ひ辭職した前長崎醫科大學耳鼻咽喉科長、現同大學講師小室要博士は十八日入港の千歲丸で飄然と來連した、船中語る

滿洲は一度洋行途中に素通りしただけですから今度休暇を利用して、約一ケ月の豫定で、先輩知友の訪問旁々、奉天新京から吉林、ハルビンと全滿の病院行脚をしたいと思つて來ました、例の博士號の事件は全く私の監督不行屆の結果汗顔に堪へないところです

二十二坪、工費二萬四千圓、病棟二棟工費二萬二千圓其他合計總坪一千五百六十坪、工費七萬四千圓にして今年中には竣工の豫定である

ハンニ教本山
柳櫻會近く發會

過般飄然現れた伊東ハンニ氏は世間の樣々な取沙汰のうちに二十日ばいかる丸で離滿する、氏の新東洋主義の信奉者も漸く多きを加へたので、ハンニ教總本山を大連に設けやうと、來滿以來東奔西走してゐたが、準備工作漸く成り近く發會の模樣である、右は柳櫻會と名づけられる筈で、發會の曉は上海、横濱に設けてある柳櫻會支部と連絡をとり、東洋の敵蔣介石を反省せしめるんだと出發を前にハンニ氏は氣焰をあげてゐた

芝罘觀光團一行

滿鐵社員會主催芝罘觀光團一行三百餘名は十八日午後七時第十八共同丸にて數多の婦人社員を交へ賑やかに出帆した、廿日歸連の豫定

けふのメモ

△在滿政治機構改革問題に關する市民大會並に批判演說會午後六時より大連劇場にて

△大連市立中學校舍起工式　午後一時下萩町衞生研究所西隣にて

△河本大連兵站部支部長送別會午後一時忠靈塔前廣場にて會費二十錢

スポーツ

◇庭球　▼全臺灣鐵道軍對滿鐵對抗庭球戰　午後三時より北公園滿鐵テニスコートで

安樂椅子

關根埠頭事務所長の負け嫌ひは有名なもので、どんな會合でも自信のあるところを一通り喋言らねば氣が濟まない、向ふが十の力で打つかつてくれば十五で押し返さうと云ふ强氣ぶり。

◇

その關根氏年に二三度ステッキが變る、素晴らしいステッキであつたり頗るチヤチなものであつたりするが、とにかくそれを後生大事に何處へでも突いて行く、愉快なものはそのステッキの出所が氏の負け嫌ひな代物してゐる事で。

◇

御多分に洩れず所長なんて肩書がつくと廣告目當の羽織ゴロがよく「一つよろしく」とあの手この手で攻めたてる、そんな場合でも關根氏に限つてヤミ〳〵と要求通り出さない、一通り彼氏一流の人世觀が滔々と述べられる、一應の理窟があるので相手が神妙に聞いてゐるといつか自我陶醉境に入つてしまひ「では出さう」と云ふ事になるのであるが、三十タンド「只ちやない」それのステッキと御の[illegible]つこだ」

濁流の猛威

【右端上から】濁流が安奉線鐵橋（?）の間は發家の流れ【三番目】滿鐵病院に收容された避難者たち【三番目左】ダム決潰した第一水源池【同左】救護に活躍する[illegible]生【下】學校を浸する大和橋中央部の浸水

由比正雪（5）

悟道軒圓玉演
武田一路畫

血煙

楠將監は盃の酒を乾し、
「まア菊池聽けよ、信玄は信濃守にならんとして諏訪頼重を攻めた何で頼重を攻めたかと云ふに頼重は信濃一國の武將を旗下に附けそれで信濃守と任官した、それを奪うために信玄は何の理由も無きに軍を出した、所が頼重は名將で、何うしても信玄の目的を遂げさせぬ、茲に於て信玄は頼重と媾和して奸策を用ひて頼重を諏訪の湖水に誘き出して暗殺いたし撰て忍ばせ置いた兵を以て諏訪の城を攻め四方に火をさして燒き立てた爲に此の城は落ち、頼重の家臣は枕を並べて戰死した、其時に頼重の娘の膿といふ者を捕へ是を信玄が妾といたした、此の膿の產みし男子が勝頼である、因緣は恐ろしきもので、此の勝頼の代に武田は滅亡致した、是等に引換へ、此の將監の學びし楠流兵法の祖は正成公である、屢々足利の大軍を惱まし、延元々年五月攝州湊川に於て戰死致した、其嫡子正行公は是亦父の遺志を繼ぎ足利の大軍と戰ひ勝利を得たが、武運盡きたるか、痛はしくも四條畷で戰死いたした、父子打ち揃うて皇室の爲に身を殺したは、日本開闢以來の大忠臣、信玄なぞとは人物が違ふ、何うだ判つたか」

斯くと聞いて菊池源右衛門はカッと取り逆上せ無禮なり楠と、一刀の柄に手を掛けたが、將監これを見て、不埒なり此奴と引き拔いて斬り込んだ、源右衛門身を躱し是亦一刀の鞘を拂つて戰つたが驚いたはこの料亭の主人、暫くお待ち下さいまし危い〳〵とうろ〳〵する内に楠將監は皿につまづいてヨロ〳〵とよろめく其所を菊池源右衛門が斬り附けたが、哀れ將監頸部より背に掛けて重傷を負ひムーと悲鳴を揚げ起き上らうとしたところを源右衛門は取り直した一刀にて將監の脇腹を刺し、血刀を提げた儘、此の料亭の二階より往還へ飛び下り西の方を指して一散に驅け行く、供侍に居た楠の家來は初めて主人大事と知つて二階に驅け上り介抱をしたが既に絶命して居る、

此の事を訴へ出たに就いて、楠も菊池も家名斷絶、水と魚の如き睦まじき仲であつたが感情の衝突より此の樣な大事を惹起した。

スルト楠將監の伜政右衛門は父の横死を歎き菊池を討つて恨みを晴らさんと江戸を出立して京大阪を指して上る途中、駿府、今の靜岡ですが急病の爲に二十五歳を一期に世を去つた、是程悲慘な事は少ない、所が此の政右衛門の弟の庄次郎は生れて間もなく、佐竹侯の家臣花房源之丞の養子になつて居る、佐竹侯は出羽の久保田で二十四萬石、新羅三郎義光の血統諸侯としての名家です、私の家なぞも佐竹に關係があるが、向ふは堂々たる華族で子孫は伯爵、私の方は堂々たる貧的ではあれど位は一段上で講釋、併し是は音はかういやうでも意義が違ふ、其の家臣の内にて門閥家の花房源之丞、

「庄次郎は何うした」
「只今的場にお出でになりました」
「弓の稽古に參つたか用事がある故これへ呼んでまゐれ」

そこで家來が迎ひに行く、間もなく戻つて來た庄次郎

「何ぞ御用にございますか」
「申し聞ける事がある、此方へまゐれ」

庭の離室に伴れて行き容を改めた源之丞、

「さて庄次郎、貴樣は何歳に成つたな」
「是は異な事をお尋ねに相成ります、手前は本年二十一歳でございます」
「早いものだな、もう二十一に成るか、所で庄次郎、貴樣は武藝も能く學び文學にもいそしみ親には孝、朋友には信實を盡すそれ故家中の評判も宜い、依つて今日只今勘當致す故左樣心得ろ、直に當家を立退けさて〳〵不届き至極」

庄次郎是を聽いてビックリした。

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社 振替口座大連六〇番

陸軍、外務妥協案に 拓務省は賛成の意向
所謂拓務案は幻の存在

【東京十八日發國通】在滿機關統制拓務省案として各方面に流布されたる案につき拓務事務官以下當局は全然かゝる立案したることなき旨言明すると共に若し拓務關係の一部で斯くの如き試案を拓務案として新聞に發表したものであれば嚴重追究して責任を明らかにすると憤慨してゐるが、拓務省としては大體外務陸軍兩者間の妥協案成立すれば大體これに從ふといふ消極的意見である

駐滿大使は飽まで外交官
機構改革外務案特質

【東京特電十八日發】在滿機構問題に關する外務省案の特質は外務大臣の監督下にある純然たる外交官の資格における駐滿全權大使を存置すべしといふにある、即ち現在滿洲國が獨立國家であることを表現する唯一のものは特命全權大使が存置されてゐることである、陸軍案の如く總理大臣直屬の全權大使を置くことになれば現在の官制による外交官たる全權大使と全然別個のものとなり從つて滿洲國が獨立國家であることを證明すべき唯一の機關を失ふことゝなるから外務省としてはこの點は絕對に讓歩することは出來ないとしてゐる、しかして滿鐵の監督權並に附屬地の行政權等の權限は當然駐滿全權大使に附屬すべきであるとしてゐるが過渡期にある在滿機關は必ずしも理論通りに行かず右權限の主張は必ずしも強調しないといつてゐる

在滿政治機構改革 關東廳案
拓務省案に於て全部的表現

拓務省がその實現を期して關係各省に配布した在滿機關改革案は内容に於いて所謂關東廳案と殆ご異るところなく關東廳の主張する改革要素を全面的に包含強化されてゐる、關東廳の在滿機關改革に對する提唱の主流は在滿機關は現地執行機關である以上先づ根本義たる中央の對滿國策に於て本格的の決定を見ざる限り現地執行機關の強化は期待し得ない

改革云々は全く本末顚倒の形であるとなし、在滿機關としての實行すべき業務は頗る範圍廣汎なるものを含み、而してその掌るところ亦自ら分野を明かにさるべきであるとなし軍事、外交、内政の三者は飽くまでその獨自性の尊重さるべきことを強調し、かく純正妥當なる立脚點よりする改革に非されば在滿機關の強化は期待し得ない

といふにあり、關東廳案はこの立場から愼重檢討されてゐる

一、文武の二政を明確に區分し情勢により軍司令官が兼官し得る二位一體制を採れること
一、軍政以外の文政に關する長官の職能、權限及輔佐機關として政務總長を置くこと
一、關東州行政官廳として關東州廳をその監督下に設置すること
一、法院、刑務所、專賣局、遞信局、海務局、官立大學及專門學校及取引所を全權府の直轄に屬せしむる點

については全く拓務省案と相異することなく、更に

一、日滿經濟會議設置
一、長官權限

に於いては拓務省案は關東廳案を更に強化擴充されてゐる、何れにせよ拓務省案は關東廳案の根本を全く含み、より進んでゐるものであり畢竟關東廳案そのものといひ得るものである

在滿機關改革問題 (二)
滿洲問題を取扱ふ 中央の複雜な關係 影薄くなつた拓務省

九・一八事件直後の日本の對滿政策を指導し、決定し實行したものは軍部である、日本の政界はこれを默認し、國民はこれを是認した、しかし事變の昂奮が鎭靜すると共に、靑年參謀が架を橫へて政を見るやうな遣り方を續けるわけに行かぬので、何か新しい中心機關を設けねばならなかつた、この要求に對して生れたのが、全權大使、軍司令官及び關東長官を同一人で兼ねしむるいはゆる三位一體制であつた

◇

事變前までは滿鐵、領事館、關東廳及び關東軍がそれ〴〵自己の判斷と政策で事に當り、屢々不統一を暴露し「四頭政治」の惡評があつたので、これを統一するために外務、陸軍、拓務の三者の仕事を軍司令官が兼ね行ひ、その直接監督下に滿鐵を置いて一元化を試みた、これは今までの法制をそのまゝにして、その許される範圍内で人的に一元化したのだから、比較的簡單に實現することが出來た、しかしかく簡單な方法をとつた事が即ち今日の三位一體改革論の原因をなしてゐる

◇

現地の一元化は恰好だけついたが、問題は中央に殘つてゐた、事變以來、人事不省に陷つてゐた拓務省が時を經るにつれ漸く息を吹き返して來た、殊に拓務省に大きな活を入れたのは滿鐵改組問題に對する現地の騷ぎだつた、事變以後の軍部の滿洲に對する政策は常に大なる反對なしに實行されたものだが、こゝに始めて有力な反對意見が對峙し軍の主張も强行し難く見えた、拓務省はこの輿論の波に乘つて、拓務省の滿鐵に對する法成上の權限を楯にとつて改組案を阻止した

◇

そこで國民の前にかういふことが明かになつた、即ち對滿政策を實行する力のある者は軍部であるが、法制上對滿政策に最も多くの發言權を持つてゐるのは拓務省であり、實力のある者には權限乏しく、權限あるものには實力がない、況んやこの他にも、外務、大藏、商工、農林などそれ〴〵の視角から發言權を持つてゐるのだから中央における對滿政策の取扱ひは愈々複雜多岐ならざるを得ない

一つの實例でその混雜ぶりを說明すると、事變前までは滿鐵の豫決算は關東廳に形式的說明をなし、中央で拓務、大藏兩省の認可を得れば濟んだものだ、それが此頃では關東廳、軍司令官、幕僚、交通監督部長に說明諒解を得た後、漸く中央に出し、而も中央では拓務省が自省の權限を急に強く主張し出したので、色々の文句がつき、警告附で漸く認可が貰へるやうな有樣となつた、關東廳自體も古くからの親分である拓務省と、新しい親分の軍との間に挾まつて妙な立場となつた、外務關係も同樣で今度谷參事官が携行上京した三位一體改革現地案に對して内部から色々の批評が起きてゐる程だ、中央は混亂し、現地は戸惑ふ、誰が見てもこちらで何とか方向轉換をせねばならぬ時機である

◇

軍はこの方向轉換の最も端的かつ有効適切な方法として拓務省の廢止か廢止せざるまでも拓務省をして滿洲から手を引かしむることを主張した、この論鋒は滿鐵監理部設置中止問題に現れてゐる「滿鐵の監督をより嚴重にすべし」とは第六十四議會に滿鐵八億增資案が出た時の議會の附帶條件だつたので、拓務省はこの院議を楯にして六十五議會に滿鐵監理部を關東廳内に特設する案を通過したのである

ところがいよ〳〵これを實施する段になつて軍部と法制局の兩方から反對が出て來た、法制局側の反對意見は關東廳より拓務省自體に置けといふ、いはゞ技術的の問題だが、軍部の方のそれは滿鐵に關する監督權が拓務省に歸屬するのに反對したもので、その裏には滿洲から拓務省を除斥せんとする意圖が隱約されてゐた

◇

議會以來齋藤前内閣は打續く瀆職事件に惱まされて對滿國策樹立どころの騷ぎでなく無爲に打ち過ぎたが、この齋藤内閣が倒れて岡田内閣が成るに及び、世人は滿洲問題にも一躍進あるべしと期待して刮目した、果して林陸相は留任條件として對滿政策解決を條件に持出したと傳へられたが、間もなく軍は拓務省廢止を主張してゐるとの說が出て來て世上を驚かした、これに對して岡田首相は廢止の意思なきことを明確に聲明したが、拓務省だけは專任大臣を置かず首相兼攝であり、事務次官まで外務省から輸入したことは何となしに拓務省問題が未解決であるかのごとき印象を與へ、拓務省の影は依然として薄い

拓務省は外地の元締めだけに、在滿邦人の利益を中央において代辯したことが少くなく、又その設置については在滿邦人も大いに歡迎した行掛りもあるので、今さら廢止の噂を聞くと、足が遠くなつた本家の火事のやうに、他人事で濟まされないやうな感じも在滿邦人の胸に浮ぶのである(寫眞は拓務省)

獨ナチスの過激分子
イタリー潜入

【ローマ十七日發國通】オーストリーの叛亂以來オーストリーを中心に獨伊兩國は事實上不氣味な睨み合ひを續けてゐるがオーストリー問題に對するイタリー政府の斷乎的態度に憤激したドイツナチスの過激分子はテロ行動を目標に續々イタリー國内に入り込みつゝあるイタリー政府はナチス不穩分子の掃蕩に忙殺されてゐる、これ等ナチス極端分子は特にテロ、陰謀團を組織しイタリー政府に一泡吹かしてやる計畫を進めてゐるといはれるが最近イタリー政府がローマでドイツ人ナチス三名を逮捕したところ右三名は何れも彈藥を所持してゐたさ

警察操典改正
警官の大部隊行動訓練を目的
全國に警察無電設備
内務省危局對策

【東京特電十九日發】一九三五、六年の危機に向つて全國の左右兩翼が如何に動きかけるかは今から内務省の頭痛の種となつてゐる、これに對し全國の保安を司る警保局では警察官の大部隊行動を訓練するため警察操典を改正、更に警察官の增員など警備力充實のため適當の方法を考究、警保局のあらゆる新規計畫はこの危機の一點を中心として立案されてゐるが、今回更に内務省の指令を各府縣警察部へ一瞬の間に知らせるため警察無線電信を計畫し近く後藤内相は床次遞相と會見、波長問題その他について政治的交渉をなすことになつた

軍事豫算は 事務的解決困難
或は高橋翁に助力を請はん

【東京十九日發國通】明年度豫算の各省新規要求は一應大藏省に出揃ひ今後尚追加される形勢にあり今日までの新規要求總額は大體十三億圓見當で、その内大部分を占めるものは軍事豫算であり、陸海軍合して七億圓近く總額に對し半額以上も占めてゐる、然るに大藏省としては將來の財政を考慮して明年度より斷乎として財政の均衡を圖る決意の下に極力緊縮し赤字公債の減少を圖るため新規要求は總額の約三分の一削減を目標としてゐるから勢ひ金額の多い軍豫算が當然その斧鉞の目標となり、その半額以下即ち約三億圓見當に査定されることは必然的と豫想されるが、これに對して陸海兩省が滿足しないであらうことは明瞭にて茲に財務當局と軍部省の間に昨年同樣な對立狀態を生ずべく、結局軍事豫算は先づ事務的解決は至難である而して藏相の實力を以てして解決困難の見透しがついた場合には大藏當局は前藏相高橋翁の助力を乞ひ血路を開かんとする大體肚が決定してゐる

陸軍新規要求
五億六千萬圓

【東京十九日發國通】明年陸軍新規要求は今月中に大藏省へ提出するが、内容は左の通り

滿洲事件費　一億三千萬圓
資材整備費　約一億百萬圓
國防々空充實　七千萬圓
兵器改善費　四千萬圓
合計三億五千萬圓で先月末提出要求の千六百萬圓を加ふれば明年新規要求額は三億六千六百萬圓で、標準豫算の二億萬圓を合せば豫算總額五億六千六百萬圓に上る譯だ

國策審議會
構成と審議項目
對政黨工作を加味

【東京十九日發國通】國策審議會設置問題については漸次その機運熟し、床次遞相は近く岡田首相と會見これが設置を促進する事に決定したが、審議機關構成、審議項目等に關しては後藤内相を中心に次の如く床次遞相、町田商相、内田鐵相等の間で審議されて居る

一、審議會の構成は會長を岡田首相とする事、委員には貴衆兩院各派代表の閣僚級の人物を嚴選し委員の數は十名内外とする事幹事は關係各省の次官とし幹事長は河田書記官長とする
一、審議項目の主なるものは綜合的産業政策の具體化、稅制財政の整理、教育制度の根本的改革等
一、審議機關の機能は大體首相の諮問機關とするが、場合によつては審議會決定事項を政府に進言し得るものとす

而して審議會の構成に關しては特に屋上屋を架するが如き事を絕對に避け政友、民政、國同及び貴族院各派の代表を構成メンバーとして名實共に擧國一致の形態を具へんとするもので對政黨工作が多分に加味されてゐるものとして注目される

わが縮減案提示
比率解消論は抽象的に過ぐ
首、外、海意見一致

【東京特電十八日發】十月再開さるべき軍縮豫備會商に對處する帝國の方針に關しては豫て外務、海軍兩關係當局において考究中であるが該會商の重大性に鑑み我國としては單に比率主義撤廢等の抽象的の根本方針に止まらず更に具體的な根本方針を提示し英米側の具體的提案と照合して會商を有利に導くべしとの積極論が有力化し十七日閣議前岡田首相、廣田外相、大角海相の會見に於いても公正妥當にして各國を首肯せしむるに足る帝國の具體的縮減方針を提示すべしとするに意見一致を見た、右具體的提案作成にあたつては一、比率主義の撤廢一、國防自主權の確立一、國防安全感の確保等の諸原則に據り最も公正妥當な縮減方式を作成すべく關係當局間の軍縮對策協議會設立の議あり我最高方針を決定することゝなる筈である

十月前に
廢棄通告せよ
海軍主張强硬

【東京特電十八日發】華府條約廢棄通告問題に關しては今年内の最善の時期を選んでこれを斷行することは岡田首相も既にこれを容認してゐる、殘る問題は通告の時期であるが海軍としては飽までも十月から再開される軍縮豫備會商前において廢棄通告をなすか或は暫くその廢棄通告方針を朧諱として決定し中外に宣明すべしとの意向が極めて有力である

點心
未聞、協和會の指導精神
丸山順助氏

◇…五族協和を唱へる協和會の業績に就てあげつらはれる時は先づ以て撫順辦事處の功績が引き合ひに出される。

◇…水利合作社の不合理性を揭棄して、鮮滿水利組合を設立させたのも撫順辦事處、日語學堂を設立したのも撫順辦事處、農村政策樹立の基礎として村務調査に着手したのも撫順辦事處、そこで協和會の中央部では、まあ撫順辦事處を見て下さい、とかうおつしやるのです。

◇…ところがある男ははるばる撫順辦事處に主事丸川順助氏を訪れ、論議數刻、話が發展し「協和會とは一體如何なる團體ですか?」と失禮な質問になつてしまつた、だが丸川さん何時もの眞面目な口調で「それが私にも判らないのです」と答へた。

◇…そんな馬鹿なことがと思つて「では、協和會は如何なる仕事を遂行するのですか」と再問すれば「それが私にも判らないのです」とまた同じことを答へる。

◇…件の男、益々いぶかり「それはまたどうしたといふことです」と詰問すると「さあ、それが中央部から未だ一度だつて協和會の指導精神とか事業の具體的方策などを指示されたことがないのです」と沈痛に語を續け、「一體現在の協和會が何をしたといふのでせう」と反問して來たので質問の男どぎまぎして「あいや、まア、それは撫順辦事處を見て下さい」(撫順)

駐支公使館昇格
外務省準備に着手
過渡的には參事官の設置

【東京特電十八日發】外務省では對支外交强化のため公使館を大使館に昇格を期し議會の承認を經たが列國との釣合上實現を延期してゐたところソ聯では大使館を設置し他の國にも昇格機運あり有吉公使は大使たるべき時期にあり機運熟したので近く正式準備に着手の意向有力化し早急に實現が困難の場合は參事官を設置し機能の擴大を計畫してゐる

辭意固き迫司長
丁交通部大臣ら熱心に慰留中

【新京特電十九日發】過般夫人の不慮の死によつて辭表提出中の交通部總務司長迫喜平次氏は十五日新發屯の自宅において告別式を行ひ未だ交通部に出勤せず

專ら
謹愼中で傳へられる所によれば丁交通部大臣その他同僚は同氏の辭意を飜へしめんと極力慰留中であるといはれて居るが氏の辭意は頗る固く氏は夫人の遺骨を持つて十九日新京發歸國の途に就く筈である、若し同氏が辭意を飜へさない場合は止むなく後任の銓衡を見る模樣であるが交通部は郵政電政の監督、鐵道行政の統制、全滿鐵道の委託經營を引受けて居る

滿鐵
と協力し鐵道の運用に寄與する人物を要するので結局滿洲の鐵道事情に精通せる滿鐵社員中より推薦されるものと見られて居るが右に付き國務院總務廳長阪谷希一氏は語る

迫君の辭表は慥に受けて居る、併し同君は建國早々の時代から滿洲國に盡す所多く總務司長に就任するや恪勤精勵交通行政の進展に寄與せる所が多い、夫人の死去は誠に氣の毒である、辭表の提出も公務上の過失ではないので專ら慰留中である、丁交通部大臣からはまだ辭表の事に付いては何等の報告にも接して居ない、後任者を如何にするか等に付いては全然考へて居ない

橫山龍一氏
きのふ歸連す

關東廳財務局理財課長を辭任後滿洲國財政部理財科長に轉任した橫山龍一氏はかねてより歸鄕靜養中であつたが十九日入港しあさる丸で歸連した船中語る

先づ旅順へ行き新京へは二十二三日頃までに着く豫定です、色々の關係で滿洲國へはいりましたが關東廳に三年ゐましたので相當仕事にも馴れてゐるので期待にそへると思つてゐます

滿化と全工聯
契約調印完了

【東京十八日發國通】本年十一、十二月試運轉、明年一月より製造開始、二月からフル運轉、十八萬噸製造豫定の滿洲化學工業會社の硫安取引は數量が莫大なので各方面から注目されてゐたところ十八日全工聯藏川專務、滿洲化學右近常務との間に左の契約成立調印を終へたので内地普性肥料會社及植民地との間にも近く契約される筈 右契約内容左の如し

(一)契約期間三ケ年(一)數量十二萬噸(一)取引拂ひ(一)配給區域は大阪事務所管内關西北陸方面(一)本年度全工聯肥料年度は七萬五千噸

尚昭和肥料との取引は當分の内從前通りと決定してゐる

貨物主任會議

滿鐵々道部貨物主任者會議は十七八の兩日大連で開かれたが、議題は細部的事務打合事項のみで順調に審議を續け十八日正午散會

駐哈米領事着任

【ハルビン十九日發國通】新任駐哈アメリカ總領事アダムス氏着任した

關東廳辭令(十八日)

任關東州公學堂教諭　奈良縣公立小學校訓導　貝田義信
任關東廳遞信書記補　橫川茂一郎
任關東廳技手(各通)　矢野三郎　山本辰次郎　三輪文司

人事

▲橫山龍一氏(滿洲國財政部理財科長)十九日入港しあさる丸で歸連

大觀小觀

今年は極東水禍の年、安東水害に至つて極まる▲地獄の圖にも見ない水地獄、水餓鬼道▲地藏菩薩は差詰め滿鐵、盛んに技師、應援員、水濾機、握り飯を送る▲アリゾナ州の日本農排斥極めて露骨、これが人道主義の米人のすることか▲ブラジル日本移民の排斥にも、英米の手が入つてゐる事漸次暴露し來る▲支那の排日に火をつけ、更に油を注いだのも英米の仕業、支那人だけではあれ程にはならなかつたのだ▲日本が國際聯盟を捨てたのを奇貨とし、ロシアを聯盟に入れんとするのも英米の外交術▲某神道系の雜誌に現代に於て八岐のをろちの妖靈に憑かれてゐるのが某國人だとある▲さう見れば見られぬこともない簸の川上を分け上り給ふ素盞嗚命はいつ出でますか▲東洋各地のいがみ合ひは政治的にも經濟的にも融合第一を要す▲東洋民族民族自覺と共に、西洋の排東運動が露骨になる▲此際日支、日暹等の協和の範を示し、之れを西洋に擴めて世界一呑みの機を待つ妖蛇の邪靈を封ずべし▲滿洲國の出現、之れによつて始めて意義あり、大亞細亞主義の提唱もこれを實現せずんばその甲斐なし。

蘇聯一流の逆宣傳
北鐵交涉の非を蔽はんが爲
我當局猛省を促さん

【東京十九日發國通】ソ聯側は交涉の途中にある北鐵讓渡問題に關し折衝の經過を發表して日滿兩國に誠意なきが如き宣傳を爲して居るに對して、わが外務當局は極度に憤慨

抑も我國はソ聯側が仲介を依頼して來たので廣田外相がソ滿兩國の間に立つて仲介折衝を進めて來たのである、廣田外相が兩者の主張を充分考慮し仲介最後案を提示したのに對し、ソ聯側はこれさへも拒否し去るが如き態度を執つたので、大橋滿洲國外交部次長は遂に引揚げるに至つたものである、ソ聯側にして誠意を示しさへすれば代表の一人である丁士源公使もゐる事であり、大橋次長も何時でも引返して來るといつてゐるのである然るに滿洲國にのみ讓歩を迫りソ聯側の最後案なるものを提示せずして徒らに交渉を遷延せしめて居るのみならず、折衝の途中にある問題を暴露し自國の非を蔽はんがため北鐵不穩計畫犯人を逮捕せる北鐵に對して壓迫を加へたるが如き逆宣傳を爲し停頓の責任を日滿兩國に負はさんとする如きはソ聯側一流の奧の手であつて、その不誠意なる態度が今日の如く會商を停頓せしめてゐるものである事を知らねばならぬ

斯くてソ聯側の不誠意に猛省を促す事になつた

蘇聯側の逆宣傳は一笑に附さる
北鐵交涉に關する

【ハルビン十九日發國通】北鐵讓渡の東京會議停頓するや、ソ聯は御用新聞イズヴエスチヤ及プラウダ其他の紙上を通じて日滿兩國は種々の報復手段に愬へんとしてゐるとの非友誼的記事を挿入して國民の注意を喚起する狂態ぶりを發揮してゐるが、ソ聯側は今日迄の幾多の對滿洲國不法事件に關し常に沈默を守り、一度自國が不利の立場に迫るや盛んに逆宣傳を開始する有様だが、ソ聯の國際信義無視は寧ろ傳統的といはれ從つて現在の日滿兩國に對する誹謗も一般に一笑に附され、反對に物笑ひの種となつてゐる

滿洲國を誣ふ
北鐵線の特別許可證問題
ソ聯政府の公表

【モスクワ十七日發國通】ソ聯政府はハバロフスクよりの報道なりとして左の如く公表した

隔の地にある鐵道勞働者の供給に干渉するに等しきものである尚ほ中央執行委員會機關紙イズヴエスチア紙は斯くの如き命令は列車の運轉を全く不可能ならしむる不當命令であると非難してゐる

宣傳指導者
急遽歸國

【ハルビン十九日發國通】わが官憲が續々たる北鐵列車顚覆事件の犯人として二赤系從業員を檢擧した事に關し、ソ聯側は右は東京會議が事實上お流れとなつた今日、日本の北鐵奪取の前提であると出鱈目な宣傳を開始してゐる折柄、北滿ソ側共產黨の指導者として暗躍してゐた北鐵監事マゴン氏は十九日午前八時三十分發モスクワへ急行した、マゴン氏が北滿の近況を報告した後のソ側の對滿態度こそ見ものとされてゐる

佛紙論調
北鐵問題是非

【パリ十七日發國通】最近北鐵讓渡交渉の停頓、大橋外交次長の引揚げ等を機會にパリ各紙は日ソ兩國關係に多大の注意を拂ひつゝあり、ドイツ總統の人民投票執行の十九日を控へてドイツ國內の……うさか各方面よりの報道を掲載してゐる、殊にパリ諸紙は日ソ兩國關係に就きセンセイショナルの報道を掲げてゐる、極左のリュウ・マニテ紙は十七日の紙上に日ソ兩國關係に關する社說を掲げ

日本政府はソ聯邦の聯盟加入東歐ロカルノ條約の成立前にソ聯邦と事を構へやうとしてゐると論じてゐるが半官機關タン紙は十六日の紙上でルジュルナール紙は十七日の紙上で何れも此種の誇大な報道は割引する必要がある事を強調し日ソ兩國關係の逼迫を信じない穩健な論旨を示してゐた

日本を侵略者呼ばはり
日ソ開戰說全歐に擴大

【東京特電十八日發】パリ來電、日ソ戰爭說は今や全歐洲に擴がりベルギーなどはソウエートの宣傳に乘り日本を侵略者呼ばはりしパリ、ロンドンでも日本に不利な記事が連載されてゐる程である、これは最近のドイツに對する一般的反感をそれに乘じたソウエート側の老獪な宣傳がもたらした結果と見られる、最近パリに來たポーランド駐劄公使伊藤述史氏は右情勢について語る

ポーランド側はソウエートの聯盟加入をきらひ相當な條件なしでは贊成しまいし、東歐ロカルノ條約案に對してもソウエー軍隊をポーランド領地に入れるといふ條件を出しフランス側に手古擦らせるであらう、但し現在の情勢ではソウエートの聯盟加入は早晚實現するものと見なければならぬ、そしてその曉は現在歐洲に於ける排日空氣に更に拍車を加へられて日本をして全世界の輿論を敵にするやうな羽目に陷らしむべく排日外交工作が急速度に進められる形勢が看取される

驛員の不通
一旅客

◇私は七月中旬撫順から西安に旅行するため、滿鐵撫順驛に發車時間や賃金を尋ねました處驛員のいふには、「奉吉線は途中線路の破損の箇所が……

名古屋にも——今秋から着陸
航空新ダイヤきまる

【東京十九日發國通】懸案の懸案であつた名古屋飛行場問題も同市南端發樂內埋立地の水陸兩用假飛行場が此程竣成して一應片附き愈々來る十月十一日から旅客、郵便兩航路(一日各一往復)が名古屋に着陸する事に決定したので日本航空輸送會社では連日新ダイヤの編成に苦心中であつたが東京、福岡、大連間の三區に分けて漸く完成、十六日遞信省航空局、朝鮮總督府、關東廳に對して夫々許可を申請した、十月一日の冬期新シーズンから實施される新ダイヤは左の如し

△旅客機(下り)東京、福岡間

東京發	午前九時半
名古屋着	同十一時十分
名古屋發	同十一時二十分
大阪着	午後零時二十分
同發	同一時
福岡着	同四時十分

(大阪、福岡間は水上機日曜日は缺航)

(上り)

福岡發	午前九時
大阪着	正午
(福岡、大阪間は水上機)	
大阪發	午後一時
名古屋着	同一時五十分
同發	同二時
東京着	同三時五十分

△郵便機(下り)(火曜日は缺航)

東京發	午後二時十分
名古屋着	午後四時
同發	同四時十分
大阪着	同五時
同發	午前五時半
福岡着	午前八時二十分

(東京—大阪間は日曜、大阪—福岡間は月曜に夫々缺航、又鮮滿行郵便物は福岡發午前八時四十分の旅客機にリレーする)

(上り)

福岡發	午後一時
大阪着	同三時四十分

(以上暫定的但し日曜日は缺航)

△旅客機(下り)福岡、大連間(當分名古屋に着陸せず)

大阪發	午後六時
東京着	同八時
福岡發	午前八時
蔚山着	同十時
同發	同
京城着	午後零時
同發	同
平壤着	同二時
同發	同二時
新義州着	午後三時
同發	同
大連着	同五時

(上り)(月曜日は缺航)

大連發	午前七時
新義州着	同九時
同發	同
平壤着	同十時
同發	同
京城着	同十一時
同發	正午
蔚山着	午後一時
同發	同二時
福岡着	同三時

(月曜日は缺航)

本社 編輯營業會議
社業發展に關して

本社支社支局販賣店の編輯、營業聯合會議は十九日午後一時三十分より本社三階講堂において開催、先づ本村營業局長開會の辭を述べ村田社長は挨拶を兼ねて

近來吾社は社業の全般に亘つて眞に劃期的躍進を遂げつゝあり本社においてはこれに對處すると共に將來更に大なる發展を遂げるために諸般の重大施設改善を行ひつゝある、諸君においても本社の使命を諒得して從來にも增して奮勵努力されたし

と訓示を述べ、次に細野主幹挨拶を兼ねて社業發展の事實および新しき重要施設に就き詳細に說明の努力を求め、最後に米野局長編輯上に關する希望を述べ同三時聯合會議を終了續いて編輯各個別に打合會議を開き、各關係事務につき打合せ今後の方針につき詳細に討議決定し後五時散會した、かくて一同は虎灘一方亭における村田社長の招宴に臨み充分歡をつくして七時宴を終つた(寫眞は村田社長挨拶)

大商優勝す
全滿中等校水上競技

南滿水泳協會主催の第六回滿洲中等學校水上競技會は十九日大連運動場プールに開催、出場校は滿鐵育成、大連一中、同二中、大連商業、旅中の五校で參加選手は六十名に上り、主催者側より協會總務……

△百米平泳豫選　A組1木村(旅中)一分三十一秒三、2井上(一中)3平林(大商)B組1田口(大商)一分三十三秒、2原田(一中)3(大商)

△八百米リレー決勝　1大商(林、眞野、小平)十一分二十秒八、2旅中3育成

五十米決勝のスタート

樺組優勝
滿鐵色別相撲
個人も樺組鬼塚

七月滿支貿易
大藏省發表

苹果解禁協議會
旅順に同業者會合

佐々木理事
十八日初出社

天城氏總領事內定

洪水突如安東を襲ふ

水源池の堤防決潰 給水全く斷絶す
六道溝の死者のみで四十餘名
安東市中は宛ら戰場

【安東特電十八日發】安東は十七日朝からの雨が十八日午前五時より急に物凄い勢ひとなり附近山手町、山下町、市場通り三番通り、四番通りの一部を殘し、他全部浸水し安東のメーン・ストリート大和橋通りの如きは膝を沒し、急造の筏で交通してゐる有樣である、滿洲街の方は更に甚だしく一面の泥海となり沙河鎭は浸水軒に達せんとする狀況である、午前九時より十時に至る間は雨量殊に烈しく九十三粍を示しこれがため第一水源池の堤防は午前十一時物凄い勢ひて崩壞附近の鴨綠江製紙會社は危險に瀕し住民は中學校に避難した、本月十日竣工したばかりの沙河鎭の第二水源池も從業員二名諸共根こそぎ流失午後二時から全市の給水斷絶した

宛らこの世の地獄
家に縋つて流れる多數の滿人

【安東特電十八日發】鴨綠江は急速に增水し午前九時增水量一丈六尺、上流から筏、ジャンク等の流失多數にあり、家にすがつて流れる滿人おびたゞしく阿鼻叫喚、宛らこの世の地獄である、救護所に收容した避難民は二萬餘名、十八日晝飯の炊き出しは一萬一千人分であつた、豪雨は正午頃から小降りとなり二時には止んだが天候なほ險惡、十八日夜は日滿各關係機關は徹宵警戒する筈である（降雨量は十七日午前九時から十八日午前九時まで百九十五ミリ、午前九時から十時までは九十三ミリ、十時より午後三時半まで八・四ミリ、合計二百九十六・四ミリである）安東市中の電話は今のところ通話してゐるが市外は滿洲人、朝鮮人部落とも全部不通である

【寫眞上から】激流渦巻く鴨綠江、ビーアの間は家屋の流失、滿鐵病院に收容された負傷者

空から見た安東の水災
田中操縱士談

【奉天特電十九日發】十九日午前六時奉天出發水難の新義州に向ひ午後三時再び歸來した滿洲航空會社田中操縱士は安東の水災につき左の如く語つた

連山關あたりから雲量三百となり難航を續けましたが鳳凰城附近から百位となり大分樂になり新義州は矢張り四百位で安東は曇りで細雨を交へ時々沛然たる驟雨があつて安東の住民は天候を心配して居ります、水難の現狀は判つきり見えませんでした新義州の飛行場も水たまりがあり乘客六名ありましたが四名にへらして歸つて來た譯であります、午後四時頃連山關附近は再び雲量四百位でありましたがもう大丈夫と思ひます

死傷者は六百
浸水の家屋一萬二百におよぶ
被害二百萬圓突破か

【安東特電十九日發】安東及び附近の損害、浸水家屋一萬二百、倒壞流失家屋二百、流失筏百五十臺（六十萬圓）船六百艘（五十萬圓）橋梁破壞五、老古溝の線路損害、水源池の被害は二百萬圓を突破する見込、安東滿洲街の浸水家屋は全市の八割八千五百戶に達し、豫想され得る死傷者六百、十九日午前中に發見收容した死體三十一、船舶、筏、穀物の損害五百萬圓と概算される

安奉線漸く開通
けふ臨時列車を特發

【奉天特電十九日發】水禍の災害による安奉線の破壞箇所は安東より修理班多數が現場に出かけ全力を擧げ復舊作業に努めて居るが線路破壞橋梁の流失等被害甚大なため復舊工事も容易に捗らず十九日正午開通の豫定が遲れ午後四時五分漸く開通した、奉天より出發する乘客は少數であるが朝鮮より來滿する乘客は全部安東に立往生しこれがため安東驛は大混雜を呈して居る、十八日午後十一時着第四列車及び十九日午前七時發の第二列車は何れも五龍背に停車して開通を待ち第二列車は安東に向つて出發第四列車も續いて發車した、又十八日朝來停車して居た奉天行第五列車も一晝夜半にして漸く發車し十九日午後十時五十分着のひかりも多少遲れて奉天に到着の筈で十九日午前七時奉天發の第二列車は豫定より四時間遲れたため安東の列車のみでは運びきれないので二十日朝奉天行き臨時列車を發車より午後一時特發し第二列車はそのまゝ釜山に直行した、安東より來奉する乘客は何れも滿員で定時もこれを緩和する事となつた

安東市内は完全に排水
泥を洗ふ水もない

安東市內の浸水は十八日午後三時を最高潮として漸次減退し十九日午前四時完全に排水したが浸水家屋は泥が一杯たまりこれを洗ふ水もなく慘憺たる光景を呈して居る電話は朝鮮方面は十八日午後七時安東、奉天間は同十時四十分開通電信は十九日午前四時全通した

防穀令を發布

安東縣公署では穀物の縣外移出、日用品の價格吊上、買占めを防止するため十九日午前十一時防穀令を布き縣下一般に嚴達した

芝罘觀光團一行

滿鐵社員會主催芝罘觀光團一行三百餘名は十八日午後七時第十八共同丸にて數多の婦人社員を交へ賑やかに出帆した、廿日歸連の豫定

飛驒地方强震

【名古屋十八日發國通】名古屋鐵道局着情報に依れば十八日午前十一時三十七分頃飛驒地方に强震あり高山線飛驒金山下油井間山崩れあり線路閉塞、尙美濃相生深戶間の十五隧道も閉塞、第六長良川鐵橋も破壞不通となつた

【名古屋十八日發國通】其後の報道によれば飛驒地方の地震による隧道橋梁の被害はその後修理成り被害はさして甚大でなかつた模樣である

【寫眞上から】ダム決潰した第一水源池（左）救護に活躍する青訓生―右方は大和小學校、左方は高等女學校（右圓內）馬腹を沒する大和橋中央部の浸水

機密書類入りの行嚢奪ひ開封
"朝鮮革命軍"の一味

【奉天十九日發國通】頻發する匪賊朝鮮革命軍の遞送郵便物掠奪事件に當局に於ては相當腐心しまるが本月上旬桓仁郵便局より奧京を經て奉吉沿線に向け遞送中の郵便物二袋二百數十通が永陵街三道江附近に於て革命軍百數十名により奪はれ全部開封された事最近に至り判明したが同袋中には重要機密書類多數ありたる模樣である

東部線爆破の犯人は國外追放

【ハルビン十九日發國通】ハバロフスク府中央部の指令を受け組織的北鐵東部線における列車爆破事件の犯人赤系露人は目下我方の純然たる司法權の發動となつて嚴重取調べ中であるが右の結果有罪の一味は國外に追放される事になる模樣である

共匪討伐ちかく開始

【新京特電十九日發】高粱繁茂期に入り安圖縣下に蟠居の大小匪團共匪の蠢動は活潑となり連日相當の被害を蒙つて居り目下安圖、撫松縣一帶には吳義成一派の共匪約一千が蟠居し安圖縣城襲擊を企圖し、安圖縣行きの郵便物は悉く途中に於いて掠奪し交通は杜絕の狀態となつたので日滿軍警では近く討伐を開始する事となつた

パルチザン匪賊を使嗾
北鐵東部沿線寂る

【ハルビン十九日發國通】極東露領の赤軍パルチザン隊本部が北鐵赤系從業員を使役して北鐵本部線を運行する列車を爆破又は顚覆せしめて多大の損害を與へる外更に匪賊をも使嗾して旺んに地方住民を殺傷し其の平和的經濟生活を根底より脅かしつゝあるため最近に至り北鐵東部沿線の善良な滿露人住民は匪賊の掠奪放火殺傷をおそれて安全地帶に移住するもの續出するに至りために鐵道沿線は非常なさびれ方である尙ほ赤系不穩分子は愈々反滿抗日の氣勢を揚げ就中徹底的に列車の運行に妨害を加へ日本人の列車旅行を徹底的に阻止する方針の下に暗中飛躍して居るといふ

膨脹する國都
一日當り平均九戶半の增加率
昨年より一萬六千人增加

【新京特電十九日發】西に東に發展躍進を續けつゝある國都の輝かしき建設音頭に伴ひ諸般の事業も躍進しつゝあるが之に伴ひ人口の激增は驚くべき數字を示し新京警察署の調査による七月末現在に於ける附屬地の總戶數は九千三百九十二戶にして昨年の七千七百五十八戶に比して一千六百三十四戶の激增を示し此の中滿人百四戶、外人三十三戶を減少して居るが之は家賃拂底のため高價な家賃で邦人に讓り安價な城內に移住したもので昨年七月末現在における內鮮人六千八十六戶に對し九千五百十四戶に增加し一日平均九戶半の增加率を示し總人口內鮮人を合して附屬地二萬八千七百七十三人、領事館管內一千三百五人、合計四萬三千七百七十七人にして昨年の二萬八千六十二人に比し一萬五千七百十六人の激增を示して居る、以上の統計より見れば現在一日九戶半四十三人の增加率で伸び國都が如何に健全なる發展を遂げつゝあるかを物語るもので今後此の調子で激增して行く場合は數年を出ですして邦人の人口は十萬を突破するであらうと觀られて居る

滿鐵の逸話二題

鐵道部次長山口十助氏が服裝に無關心なことは有名な話で、夏などお腹を出したまゝ悠々と重役會議に出席するが、けふこの頃も冬のモーニングを着込んで次長新任の挨拶廻りをやつてゐるので「次長になつて夏のモーニングを持たせないのは鐵道部の恥だ」とあつて營業課員連中小池旅客係主任を中心にして一つ次長昇進祝に夏のモーニングを寄附しようかと寄々相談中。

近く洋行する土肥人事課長、年漸く三十九歲の壯年だが、頭髮すでにこれを追越して殘り少ないオボロ月夜なので本人先づこの點を心配した、しかるに先輩連口を揃へて「西洋ではゴマ鹽は問題にするが禿は問題にしない、婦人において殊に然り」と說いたので本人大喜び「これで伸び〳〵と洋行出來る」と言つてゐるが、あれ以上伸び〳〵されてはと課員連ひそこそながら大心配。

製粉工場に脅迫狀發送
これで三度目

【新京特電十九日發】目下高粱繁茂期となり土匪共匪の蠢動活潑となり之に呼びかける不良分子の暗躍も亦活潑となり日滿當局に於いては嚴重警戒中であるが折柄此の嚴戒を突破して國都に不逞團が現れ去る十七日午後五時頃新京滿洲郵便局より市內鐵道北製粉工場裕昌源王敬山方に一通の書狀が發送されたので主人の王が開封して見ると十七日中に現金二千元を提供すべし、當方より受取りに行くが若し之を警察に屆くる場合は家屋を燒却する意味の脅迫文であつたので讀み終つた主人は直に此の旨新京署に屆出でたので新京署では現場に刑事を派遣し嚴戒中で王方に脅迫文の舞込んだのは之で三度目であると

中等野球準決勝
熊本快勝す 4A—0 對市岡中學校

【大阪特電十九日發】全國中等學校優勝野球大會準優勝戰市岡中學對熊本工業の一戰は吳港中學對秋田中學戰の後を承けて午後一時十一分より甲子園球場において森田（球審）長濱、橋本、牧野（壘審）四氏審判の下に市岡先攻で開始されたが熊本捨身の戰法功を奏して四A對零で熊本快勝した、閉戰三時十八分

バッテリー（市岡）南村―袴田（熊本）戶上―吉原

市岡	000	000	000	0
熊本	100	010	02A	4A

由比正雪（5）

悟道軒圓玉演
武田一路畫

血煙

楠將監は盃の酒を乾し、

「まア菊池聴けよ、信玄は信濃守にならんとして諏訪頼重を攻めた何で頼重を攻めたかと云ふに頼重は信濃一國の武將を旗下に附けそれで信濃守と任官した、それを奪うために信玄は何の理由も無きに軍を出した、所が頼重は名將で、何うしても信玄の目的を遂げさせぬ、茲に於て信玄は頼重と媾和して奸策を用ひて頼重を諏訪の湖水に誘き出して暗殺いたし豫て忍ばせ置いた兵を以て諏訪の城を攻め四方に火をさして焼き立てた爲に此の城は落ち、頼重の家臣は枕を並べて戰死した、其時に頼重の娘の禰々といふ者を捕へ是を信玄が妾といたした、此の腹の産みし男子が勝頼である、因縁は恐ろしきもので、此の勝頼の代に武田は滅亡致した、是等に引換へ、此の將監の學びし楠流兵法の祖は正成公である、屢々足利の大軍を悩まし、延元々年五月攝州湊川に於て戰死致した、其嫡子正行公は是亦父の遺志を繼ぎ足利の大軍と戰ひ勝利を得たが、武運盡きたるか、楠は四條畷で戰死いたした、父子打ち揃うて皇室の爲に身を殺したは、日本開闢以來の大忠臣、信玄なぞとは人物が違ふ、何うだ判つたか」

斬くと聞いて菊池源右衛門はカッと取り逆上せ無體なり楠と、一刀の柄に手を掛けたが、將監これを見て、不埒なり此奴と引き抜いて斬り込んだ、源右衛門身を躱し是亦一刀の鞘を拂つて戰つたが驚いたはこの料亭の主人、暫くお待ち下さいまし危い〳〵とうろ〳〵する内に楠將監は閾につまづいてヨロ〳〵とよろめく其所を菊池源右衛門が斬り附けたが、哀れ將監頸部より背に掛けて重傷を負ひムーと悲鳴を揚げ起き上らうとしたところを源右衛門は取り直した一刀にて將監の脇腹を刺し、血刀を提げた儘、此の料亭の二階より往還へ飛び下り西の方を指して一散に駈け行く、供侍に居た楠の家來は初めて主人大事と知つて二階に駈け上り介抱をしたが既に絶命して居る、

此の事を訴へ出たに就いて、楠も菊池も家名斷絶、水と魚の如き睦まじき仲であつたが感情の衝突より此の様な大事を惹起した。

スルト楠將監の伜政右衛門は父の横死を歎き菊池を討つて恨みを晴らさんと江戸を出立して京大阪を指して上る途中、駿府、今の靜岡ですが急病の爲に二十五歳を一期に世を去つた、是程悲慘な事は少ない、所が此の政右衛門の弟の庄次郎は生れて間もなく、佐竹侯の家臣花房源之丞の養子になつて居る、佐竹侯は出羽の久保田で二十四萬石、新羅三郎義光の血統諸侯としての名家です、私の家なぞも佐竹に關係があるが、向ふは堂々たる華族で子孫は伯爵、私の方は堂々たる畜的ではあれど位は一段上で講釋、併し是は音はかうしやくでも意義が違ふ、其の家臣の内にて門閥家の花房源之丞、

「庄次郎は何うした」

「只今的場にお出でになりました」

「弓の稽古に參つたか用事がある故これへ呼んでまゐれ」

そこで家來が迎ひに行く、間もなく戻つて來た庄次郎

「何ぞ御用にございますか」

「申し聞ける事がある、此方へまゐれ」

庭の離室に伴れて行き容を改めた源之丞、

「さて庄次郎、貴様は何歳に成つたな」

「是は異な事をお尋ねに相成ります、手前は本年二十一歳でございます」

「早いものだな、もう二十一に成るか、所で庄次郎、貴様は武藝も能く學び文學にもいそしみ親には孝、朋友には信實を盡すそれ故家中の評判も宜い、依つて今日只今勘當致す故左様心得ろ、直に當家を立退けさて〳〵不届き至極」

庄次郎是を聴いてビックリした。